マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

● パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
使用する前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

- Windowsのセットアップ
- インターネットの接続
- 本体の機能
- バッテリで使う方法
- 周辺機器の接続
- 困ったときは
- 再セットアップ

基本をマスター

● 特に初心者のかたへ
パソコンの基本操作、文字入力、インターネットやメールの楽しみかたについて説明しています。

もくじ

マニュアルの使いかた 1
もくじ 2
はじめに 7

1章　セットアップとインターネット接続　11

1　パソコンの準備 12
❶ 電源コードと AC アダプタを接続する 12
❷ 電源を入れる 13
2　Windows のセットアップ 14
❶ セットアップの前に 14
❷ Windows のセットアップ 16
3　インターネットに接続する 20
❶ 電話回線の接続 20
❷ プロバイダと契約する 22
❸ パソコンの設定 23
❹ インターネットへの接続 26
4　ユーザ登録をする 27
❶ 東芝へのユーザ登録 27
❷ その他のユーザ登録 28

2章　電源を入れる／切る　29

1　電源を入れる 30
2　電源を切る 32
3　パソコンの使用を中断する／電源を切る 33
❶ スタンバイ 33
❷ 休止状態 34
❸ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する 35

3章　本体の機能　37

1　各部の名前 38
❶ 前面図 38
❷ 背面図 39
❸ 裏面図 40

2 インジケータと各ボタン 42
❶ インジケータ 42
❷ オーディオプレイボタン 43
❸ イージーボタンユーティリティ 44
3 キーボード 46
❶ キーボード図 46
❷ キーシフトインジケータの切り替え 48
❸ キーを使った便利な機能 49
❹ ワイヤレスキーボード 52
4 タッチパッド 61
❶ タッチパッドを設定するには 61
❷ タッピング機能 61
❸ その他の設定 64
❹ タッチパッドを無効／有効にするには 65
5 ワイヤレスマウス 67
❶ 電池の取り付け／取りはずし 68
❷ ワイヤレスマウスの登録 69
6 ディスプレイ 72
7 ハードディスクドライブ 74
❶ ハードディスクドライブに関する表示 74
8 サウンド機能 75
❶ スピーカの音量を調整する 75
❷ 音楽／音声の録音レベルを調整する 76
9 フロッピーディスクドライブ 77
❶ フロッピーディスク 77
❷ フロッピーディスクのセットと取り出し 77
❸ フロッピーディスクを使う前に 79
10 マルチドライブ 83
❶ CD ／ DVD について 83
11 内蔵モデムについて 86
❶ 海外でインターネットに接続する 86
12 セキュリティロック 89

4章　バッテリ駆動　91

1　バッテリについて 92
❶ バッテリ充電量を確認する 93
❷ バッテリを充電する 95
❸ バッテリパックを交換する 97
2　省電力の設定をする 99
❶ 省電力ユーティリティ 99

5章　音楽と映像　105

1　音楽CDを聴く 106
❶ Windowsを起動して音楽CDを聴く 106
❷ Windowsを起動しないで音楽CDを聴く 108
2　音楽ファイルを聴く 110
❶ 音楽再生用アプリケーションを起動する 110
❷ Windows Media Playerでファイルを再生する 111
3　オリジナル音楽CDを作る 114
❶ Drag'n Drop CDを使う前に 114
❷ Drag'n Drop CDを使う 116
4　DVD-Videoを観る 119
❶ InterVideo WinDVDを起動する 119
❷ InterVideo WinDVDを使う 121
5　デジタルカメラの写真を編集／整理する 125
❶ デジカメWalkerを使う 125
6　動画を編集する 128
❶ MotionDV STUDIOを使う 128
❷ デジタルビデオカメラを接続する 129

6章　周辺機器の接続　131

1　周辺機器について 132
❶ 周辺機器を使う前に 133

2 PC カードを接続する 134
❶ PC カードを使う前に 134
❷ PC カードを使う 135
3 USB 対応機器を接続する 137
4 プリンタを接続する 139
❶ プリンタの接続と設定 139
5 テレビを接続する 141
6 CRT ディスプレイを接続する 145
7 i.LINK（IEEE1394）対応機器を接続する 149
8 その他の機器を接続する 151
❶ マイクロホン 151
❷ ヘッドホン 152
9 LAN へ接続する 153
10 メモリを増設する 156

7章 システム環境の変更 161

1 システム環境の変更とは 162
2 セットアッププログラムを使う 163
❶ セットアッププログラムの操作 163
❷ パスワードの設定 165

8章 困ったときは 169

1 トラブル解消に役立つ操作 170
❶ コントロールパネルを開く 170
❷ パソコンを再起動する 173
❸ dynabook.com で調べる 174
2 トラブルを防ぐために 176
❶ ウィルスチェックをする 176
3 バックアップをとる 179
❶ CD-RW、CD-R にデータをバックアップする 180
❷ メールのバックアップをとる 181
4 Q&A 集 185

9章　再セットアップ　229

1　再セットアップとは 230
❶ 再セットアップが必要なとき 230
❷ 再セットアップする前に 230
❸ カスタム・リカバリ CD について 231
2　標準システムを復元する 232
❶ はじめる前に 232
❷ 標準システムを復元する 232

10章　アフターケアとアプリケーション　235

1　アフターケアについて 236
2　廃棄・譲渡について 238
3　アプリケーションについて 239
❶ アプリケーションの操作 239
❷ アプリケーションの追加と削除 243
❸ アプリケーションを使う前に 245
❹ アプリケーションの問い合わせ先 246
❺ プロバイダの問い合わせ先 250

付録　251

1　本製品の仕様 252
2　技術基準適合について 257
3　トラブルチェックシート 271
❶ 東芝 PC ダイヤル 271
❷ トラブルチェックシート 272

さくいん 273

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。内容をよく読んでから使用してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠ 危 険	“誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う危険が、差しせまって発生する可能性があること”を示します。
⚠ 警 告	“誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示します。
⚠ 注 意	“誤った取り扱いをすると人が傷害※1を負う可能性、または物的損害※2のみが発生する可能性があること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っておくと便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。
※2 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム　特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムは Windows XP です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME　Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

記載について

・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Office ロゴ、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Bookshelf Basicは、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』第6版（c）研究社 1967,1994,1998、『新和英中辞典』 第４版 （c） 研究社 1993,1995,1998、『新明解国語辞典』 第５版 （c） 三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
・i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
・Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
・LaLaVoice、The 翻訳、The 翻訳インターネットは（株）東芝の商標または登録商標です。
・Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
・Drag' n Drop CD はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの商標です。
・Easy Systems はイージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
・DigiOn は株式会社デジオンの登録商標です。
・VERITAS は米国 VERITAS 社の登録商標です。
・駅すぱあとは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirus、Live Update は Symantec Corporation の登録商標です。
（c）2002 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
・DION は KDDI 株式会社の登録商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守の上、適切な使用を心がけてください。

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はできません。
・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみ利用できます。
・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、東芝 PC 集中修理センタに依頼してください。パスワードの解除を東芝 PC 集中修理センタに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

使用する前に本体同梱の「お客様登録カード」に必要事項を記入のうえ、返送してください。「保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1章

セットアップとインターネット接続

電源を入れて、パソコンを使えるようにするためのWindowsのセットアップを行います。
セットアップが終わったら、インターネットに接続しましょう。
また、ユーザ登録の方法についても説明しています。

1　パソコンの準備　12
2　Windowsのセットアップ　14
3　インターネットに接続する　20
4　ユーザ登録をする　27

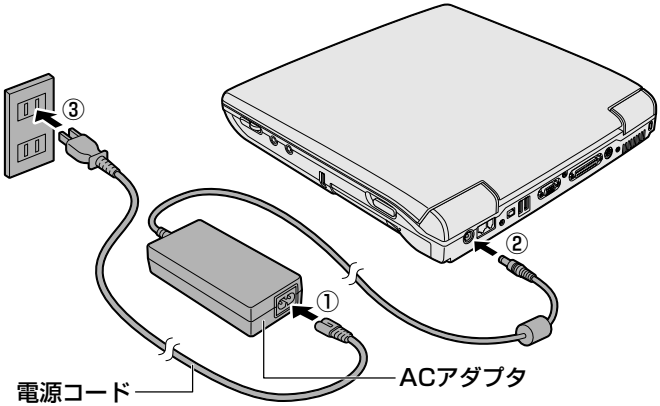
1　パソコンの準備

ここでは、電源コードと AC アダプタを接続して電源を入れる方法について説明します。

1　電源コードと AC アダプタを接続する

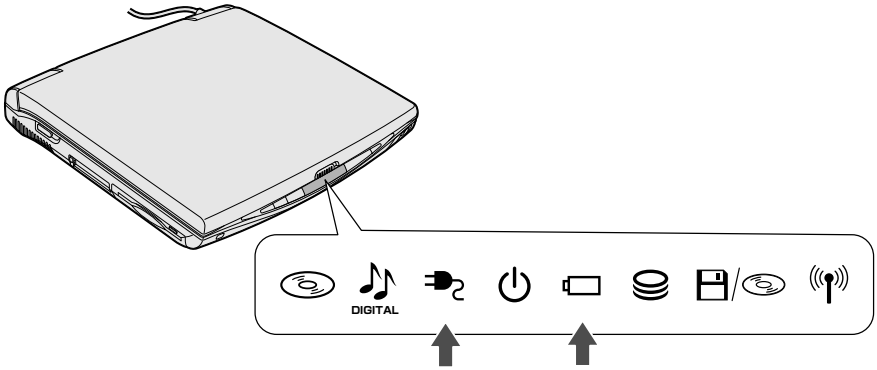
電源コードと AC アダプタの接続は、次の図の①→②→③の順に行います。
はずすときは、逆の③→②→①の順で行います。

1　接続方法



接続すると

DC IN LED が緑色に点灯します。また、Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリへの充電が自動的に始まります。



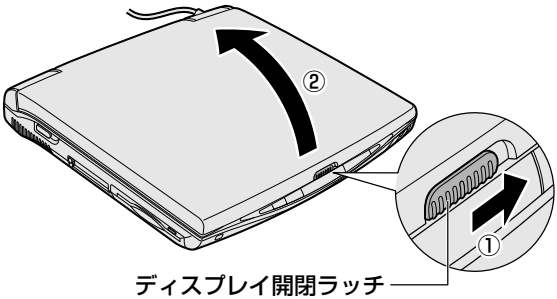
② 電源を入れる

電源コードと AC アダプタを接続したら、電源を入れましょう。

1 操作方法

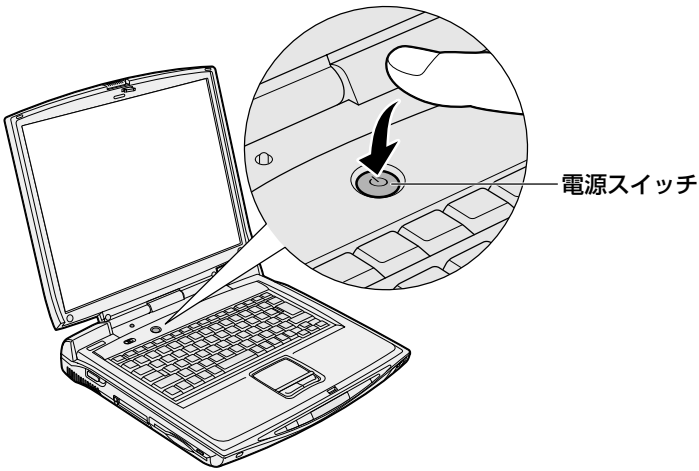
1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし①、ディスプレイを開ける②

両手を使ってゆっくり起こしてください。



2 電源スイッチをゆっくり押す

電源スイッチから指を離すと電源が入ります。Power ⏻ LED が緑色に点灯するのを確認してください。



2 Windows のセットアップ

セットアップを始める前に、『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードや AC アダプタの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

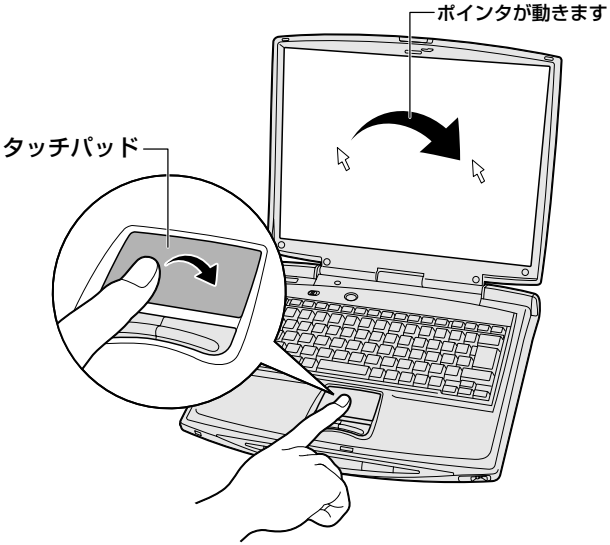
1 セットアップの前に

お願い セットアップをするにあたって

- 周辺機器は接続しないでください
  セットアップは AC アダプタと電源コードのみを接続した状態で行ってください。セットアップが完了するまでプリンタ、マウス（同梱のワイヤレスマウスを含みます）などの周辺機器は接続しないでください。
- キーボードをワイヤレスで使用しないでください
  購入時はキーボードのバッテリが充分に充電されていません。
  セットアップは、キーボードをパソコン本体に取り付けた状態で行ってください。
- 途中で電源を切らないでください
  セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障の原因になります。
- 操作は時間をあけないでください
  セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。30 分以上タッチパッドやキーボードを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。もう 1 度表示するには、Shift キーを押すか、タッチパッドに触れてください。

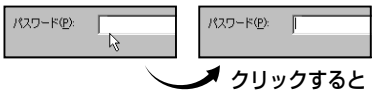
1 タッチパッドの使いかた

タッチパッドに指を置き、押さえながら上下左右に動かします。
指の動きにあわせてディスプレイ上の「 」（ポインタ）が動きます。



目的の位置にポインタをあわせたあと、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。

を文字入力欄にあわせてクリックすると、「｜」（カーソル）が点滅します。「｜」の位置から入力できます。



2 Windows のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行ってください。
初めて電源を入れると、［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示されます。

1 操作方法

1 ［次へ］ボタンをクリックする

画面右下の ボタンをクリックするかF1キーを押すと、Windows セットアップのヘルプが表示されます。
［使用許諾契約］画面が表示されます。

2 ［使用許諾契約］の内容を確認して［同意します］の左にある○をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできず、Windows を使用することはできません。
ボタンをクリックすると契約書の続きを表示できます。
［コンピュータに名前を付けてください］画面が表示されます。

3 ［省略］ボタンをクリックする

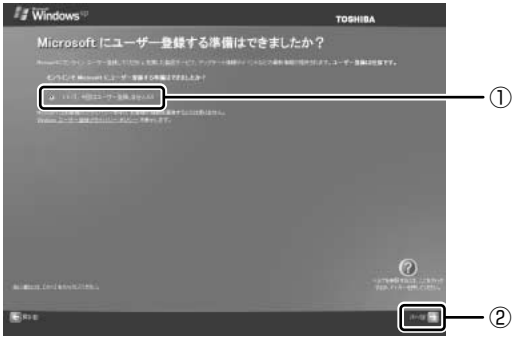
［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示されます。
インターネットに接続する設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

4 ［省略］ボタンをクリックする

［インターネット接続が選択されませんでした］画面ではなく［インターネットに接続する方法を指定してください］画面が表示されることがあります。その場合も、［省略］ボタンをクリックしてください。

［Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？］画面が表示されます。
マイクロソフト社へのユーザ登録は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

5 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の左にある○をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②



［このコンピュータを使うユーザーを指定してください］画面が表示されます。

6 ［ユーザー 1］欄に使う人の名前を入力する

［ユーザー 1］欄にポインタをあわせてクリックすると、「｜」が点滅します。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。Windows XP では複数（5 人まで）のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。

参照 複数のユーザの設定について『基本をマスター 4 章』

メモ

- **ローマ字入力で入力する場合**
  「なかた」と入力するときは、キーボードでⓃⒶⓀⒶⓉⒶEnterと押します。
  キーを押しても文字が表示されない場合は、［ユーザー］欄に「｜」（カーソル）が表示され点滅していることを確認してください。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。
  文字の入力を間違えたら、BackSpaceキーを押して入力ミスした文字を削除します。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

［設定が完了しました］画面が表示されます。

8 ［完了］ボタンをクリックする

Windows のセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動し、デスクトップ画面が表示されます。

メモ

- 次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
  C ドライブ：NTFS システム
- 東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行ってください。

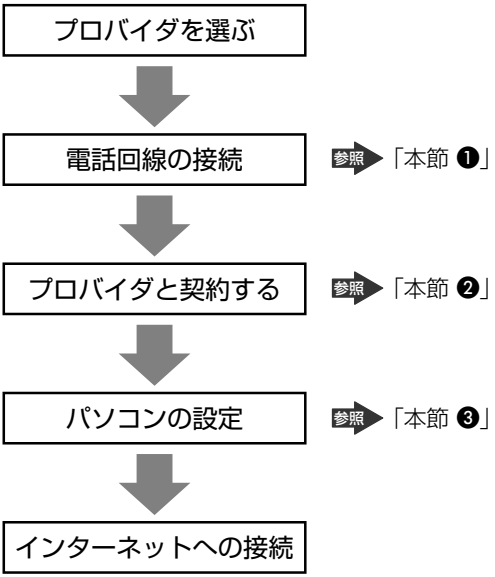
参照 ユーザ登録について「本章 4」

Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、『Microsoft Windows XP Home Edition ファーストステップガイド』、または［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックして、『ヘルプとサポートセンター』を参照してください。

3 インターネットに接続する

インターネットに接続する方法について説明します。
接続までの操作の流れは次のとおりです。



1 電話回線の接続

パソコン本体と電話回線を接続します。
ここでは、内蔵モデムを使って国内でインターネットを利用する方法を説明します。
内蔵モデムの詳細や海外でインターネットを利用する方法については、「3 章 11」を参照してください。

1 電話回線のタイプを設定する

1 ［スタート］ボタンをクリックし、表示されたメニューから［コントロールパネル］をクリックする

［コントロールパネル］画面が表示されます。

2 ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

［プリンタとその他のハードウェア］画面が表示されます。

3 ［電話とモデムのオプション］をクリックする

［電話とモデムのオプション］画面が表示されます。

4 ［ダイヤル情報］タブで［編集］ボタンをクリックする

［所在地の編集］画面が表示されます。

5 ［全般］タブで、［ダイヤル情報］と［ダイヤル方法］を設定し①、［OK］ボタンをクリックする②

［ダイヤル方法］は使用している電話回線のタイプを選択してください。

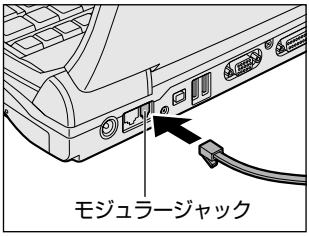
- ［トーン］：ISDN 回線、ダイヤルボタンを押すと「ピポパ」
- ［パルス］：ダイヤル式電話、ダイヤルボタンを押すと「ブツブツ」

6 ［電話とモデムのオプション］画面で［OK］ボタンをクリックする

2 モジュラーケーブルの取り付け

モジュラーケーブルを取り付けて内蔵モデムを使用する前に、あらかじめ同梱の冊子『安心してお使いいただくために』と「3 章 11」を必ず読んで、注意事項を守ってください。

1 モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む



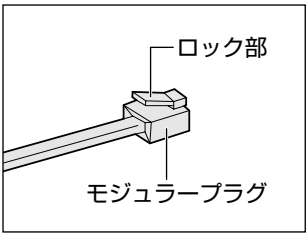
「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

2 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む

ISDN 回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ（TA）またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。

【 モジュラーケーブルを取りはずすとき 】

モジュラープラグのロック部分を押さえながら抜きます。



2 プロバイダと契約する

モジュラーケーブルを接続したら、プロバイダと契約します。
契約は、オンラインサインアップで行うか、またはプロバイダから資料を取り寄せて郵送で申し込みます。
オンラインサインアップの場合、プロバイダサインアップソフトを使って行います。
本製品には、@nifty と DION のプロバイダサインアップソフトが用意されています。その他のプロバイダと契約する場合は、そのプロバイダのサインアップソフトの入っている CD-ROM を入手してください。

【 @nifty または DION とオンラインサインアップをする場合 】

① デスクトップ上の契約したいプロバイダのアイコンをダブルクリックする
選択されたプロバイダサインアップソフトが起動します。

② 表示される画面に従って操作する

参照 各プロバイダの問い合わせ先について「10 章 3-❺」

【 その他のプロバイダと契約する場合 】

① プロバイダサインアップソフトの入っている CD-ROM をマルチドライブにセットする

② 表示される画面に従って操作する

メモ

郵送でプロバイダに申し込んだ場合、インターネット接続ウィザードを使って設定します。
［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［新しい接続ウィザード］をクリックし、表示される画面に従って設定してください。

3 パソコンの設定

プロバイダによって設定は異なります。詳細については、各プロバイダに問い合わせてください。

参照 各プロバイダへの問い合わせ先について「10 章 3-❺」

1 設定方法

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［接続］にポインタをあわせ［XX（接続先）］をクリックする

［XX(接続先)へ接続］画面が表示されます。

2 プロバイダから指定されたユーザ名①、接続先の電話番号②を確認する

サインアップで設定されたユーザ名やアクセスポイントの番号が表示されます。正しいか確認しましょう。パスワードは表示されませんが、サインアップで設定されたものが保存されています。

3 ［XX（接続先）へ接続］画面で［プロパティ］ボタンをクリックする

［XX(接続先)プロパティ］画面が表示されます。

4 ［全般］タブで接続先の電話番号を確認し①、［OK］ボタンをクリックする②

［XX(接続先)へ接続］画面に戻ります。これでパソコンの設定は完了です。続けてインターネットへ接続してみましょう。

5 ［ダイヤル］ボタンをクリックする

インターネットへの接続が開始されます。ダイヤル中は［XX（接続先）に接続しています］画面が表示されます。接続できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

接続すると、通知領域に「接続しました」のメッセージと［接続］アイコン（ ）が表示されます。メッセージはしばらくすると消えます。

これで、インターネットへ接続しました。

設定したインターネット接続の内容は、メモなどに控えて忘れないようにしてください。

4 インターネットへの接続

プロバイダと契約しパソコンの設定が終了した後の、インターネットへの接続方法と終了方法を説明します。

1 接続方法

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［接続］にポインタをあわせ［XX（接続先）］をクリックする

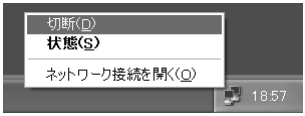
［XX(接続先)へ接続］画面が表示されます。

2 ［ダイヤル］ボタンをクリックする

インターネットへの接続が開始されます。

2 終了方法

1 通知領域の［接続］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［切断］をクリックする



［接続］アイコン（ ）が通知領域に表示されていない場合は、［スタート］→［接続］→［XX（接続先）］をクリックし、［XX（接続先）状態］で［切断］ボタンをクリックしてください。

4 ユーザ登録をする

1 東芝へのユーザ登録

本製品を使うにあたって、お客様へのサービス・サポートを充実させるために東芝へのお客様登録を推奨しています。
東芝パソコンをさらに便利に使うためのノウハウ、新商品やイベント情報の案内などの特典があります。

登録は、インターネットまたは同梱されている「登録はがき」で行います。
「登録はがき」で登録する場合、本製品に同梱されている「登録はがき」に必要事項を記入し、送付してください。
インターネットで登録する場合、パソコンにモジュラーケーブルを取り付けて、インターネットに接続してから次の手順で行ってください。

参照 モジュラーケーブルの取り付けについて「本章 3-❶」

1 東芝ホームページから登録する

インターネットに接続するための設定を行った後、次のアドレスを入力して、表示された画面から登録してください。
http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index_j.htm

2「東芝 PC お客様登録」を使う

インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。
デスクトップの［東芝 PC お客様登録］アイコン（ ）をダブルクリックし、表示される画面に従って設定を行ってください。

【［インターネットプロバイダと未契約の方］を選択した場合 】

インターネットプロバイダ「infoPepper」への入会とパソコンのユーザ登録を 1 度に行うことができます。「infoPepper」への初期登録料と接続時間に応じた料金がかかりますので、あらかじめ了承してください。
「infoPepper」以外のプロバイダへの入会を希望する場合は、プロバイダに入会してパソコンの設定を行った後、［インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネットに接続されている方］を選択してください。

【［インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネットに接続されている方］を選択した場合 】

インターネットに接続してユーザ登録できます。

【［インターネット経由での登録を希望しない方］を選択した場合 】

はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

2 その他のユーザ登録

1 Windows XP のユーザ登録

登録すると、Windows XP など、本製品に添付されているマイクロソフト社製品の今後のサービス・サポートを受けることができます。
登録は、インターネットで行います。
パソコンにモジュラーケーブルを取り付けてインターネットに接続してから、次の手順で行ってください。

参照 モジュラーケーブルの取り付けについて「本章 3-❶」

1 ［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックする
［ヘルプとサポート センター］画面が表示されます。

2 画面左の［Windows XP の新機能］をクリックする

3 左画面の［ライセンス認証、ライセンス、およびユーザー登録］をクリックする

4 右画面の［オンラインユーザー登録を使用する］をクリックする

5 右画面の説明文中の［ユーザー登録ウィザード］をクリックする
［Microsoft Windows XP ユーザ登録ウィザード］が起動します。

6 表示される画面の指示に従って登録を行う
ユーザー ID を持っていない場合は、所有者情報を入力する画面の［マイクロソフト オフィシャルユーザー ID］欄に「WindowsXP」と入力してください。

2 その他のアプリケーションのユーザ登録

本製品に添付されている各アプリケーションのユーザ登録については、各アプリケーションのヘルプを確認してください。
また、各アプリケーションの問い合わせ先については、「10 章 3-❹」を確認してください。

2章

電源を入れる／切る

ここでは、Windowsのセットアップ終了後に電源を入れる方法と、電源を切る方法について説明します。また、パソコンの使用を一時的に中断させたいときの操作方法についても説明しています。

1　電源を入れる　30
2　電源を切る　32
3　パソコンの使用を中断する／電源を切る　33

1　電源を入れる

ここでは、Windows セットアップを終えた後に、電源を入れる方法について説明します。

参照 初めて電源を入れるとき「1 章」

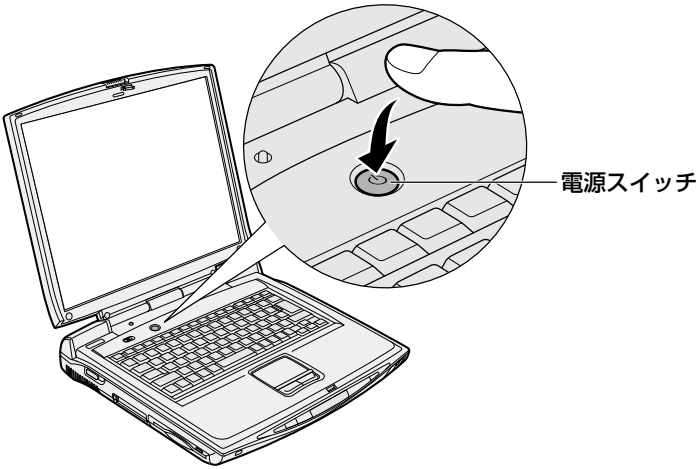
お願い　電源を入れる前に

- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていれば取り出してください。
- プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れてください。

1 操作手順

1 電源スイッチをゆっくり押す

電源スイッチから指を離すと電源が入ります。Power ⏻ LED が緑色に点灯するのを確認してください。

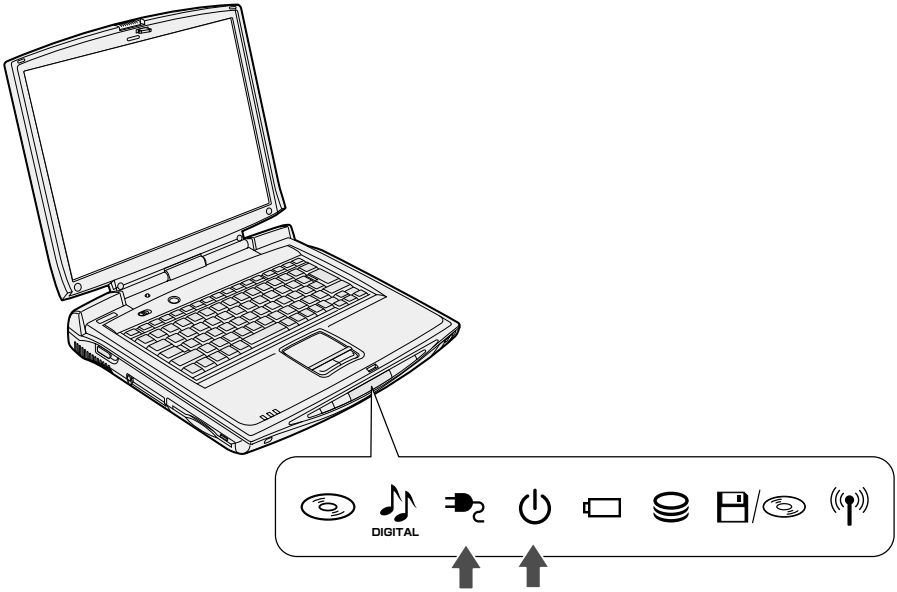


Windows が起動します。

Windows 起動後、［NVIDIA nView ウィザードへようこそ］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

2 電源に関する表示

電源の状態は次のシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。



	状態	パソコン本体の状態
DC IN LED	緑の点灯	AC アダプタを接続している
	消灯	AC アダプタを接続していない
Power LED	緑の点灯	電源 ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源 OFF

2 電源を切る

正しい手順で電源を切らないとパソコンが故障したりデータが壊れる原因になりますので、必ず正しい手順で操作してください。
パソコンの使用を一時的に中断したいときには、スタンバイまたは休止状態にする方法もあります。

参照 スタンバイ、休止状態「本章 3」

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED や FDD/CD-ROM /LED が点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 操作手順

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

2 ［電源を切る］をクリックする

Windows が終了し、電源が切れます。Power LED が消灯します。

3 パソコンの使用を中断する/電源を切る

パソコンの使用を一時的に中断したいとき、スタンバイまたは休止状態にすると、パソコンの使用を中断したときの状態が保存されます。
スタンバイまたは休止状態を実行するには、あらかじめ設定しておく必要があります。

参照 スタンバイ、休止状態について「4 章 2」

再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断したときの状態が再現されます。

お願い 操作にあたって

- スタンバイ中や休止状態では、バッテリや増設メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていない データは消失します。また、感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。
- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
- パソコン本体を航空機や病院に持ち込む場合、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与える場合があります。

1 スタンバイ

作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。
スタンバイはすばやく状態が再現されますが、休止状態よりバッテリを消耗します。バッテリを使い切ってしまうとデータは消失するので、AC アダプタを取り付けて使用することを推奨します。

1 スタンバイの実行方法

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

2 ［スタンバイ］をクリックする

メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

3 Power ⏻ LED がオレンジ点滅しているか確認する

2 休止状態

パソコンの使用を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、状態を再現できます。バッテリ駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることを推奨します。
購入時は、休止状態が有効に設定されています。

1 休止状態の実行方法

1 休止状態を有効に設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
② ［東芝省電力］をクリックする
③ ［アドバンスド］タブの［オプション］で［休止状態をサポートする］をチェックする
④ ［OK］ボタンをクリックする
休止状態が有効になります。

2 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

3 **Shiftキーを押したまま［休止状態］をクリックする**

Shiftキーを押している間は、［スタンバイ］が［休止状態］に変わります。

Disk LED が点灯中は、バッテリパックを取りはずしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。

3 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する

［スタート］メニューから操作せずに、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。

休止状態にするには、あらかじめ設定が必要です。購入時は、休止状態が有効に設定されていますが、解除した場合は「本節❷-1 手順 1」を参照して、設定しておいてください。

1 電源スイッチを押す

購入時には［電源オフ］に設定されています。変更する場合は次の手順を行ってください。

1 **電源スイッチを押したときの動作を設定する**

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

② ［東芝省電力］をクリックする

③ ［アドバンスド］タブの［電源ボタンを押したとき］で［スタンバイ］［休止状態］［電源オフ］のいずれかを選択する

④ ［OK］ボタンをクリックする

2 **電源スイッチを押す**

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

2 ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じることによって［スタンバイ］［休止状態］［電源オフ］のうち、あらかじめ設定した状態へ移行する機能を、パネルスイッチ機能といいます。購入時には［休止状態］に設定されています。変更する場合は次の手順を行ってください。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

② ［東芝省電力］をクリックする

③ ［アドバンスド］タブの［コンピュータを閉じたとき］で［スタンバイ］［休止状態］［電源オフ］のいずれかを選択する

④ ［OK］ボタンをクリックする

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で作業を中断します。

3章

本体の機能

このパソコン本体の各部について、名称、役割、基本の使いかたなどを説明しています。
また、使いやすいように各部機能の設定を変更、調整する操作など役に立つ機能も紹介。
各部の手入れについても確認してください。

1　各部の名前　38
2　インジケータと各ボタン　42
3　キーボード　46
4　タッチパッド　61
5　ワイヤレスマウス　67
6　ディスプレイ　72
7　ハードディスクドライブ　74
8　サウンド機能　75
9　フロッピーディスクドライブ　77
10　マルチドライブ　83
11　内蔵モデムについて　86
12　セキュリティロック　89

1　各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明については、各参照ページを確認してください。

1　前面図

ディスプレイ開閉ラッチ

ディスプレイ（➲ P.72）

キーボード（➲ P.46）

スピーカ

電源スイッチ

タッチパッド（➲ P.61）

ワイヤレスキーボードコミュニケーションスイッチ（➲ P.46）

左ボタン

右ボタン

スピーカ

通風孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすための吹き出し口です。

キーボード・リリースラッチ（➲ P.53）

PCカードスロット（➲ P.134）

拡大図を確認してください。

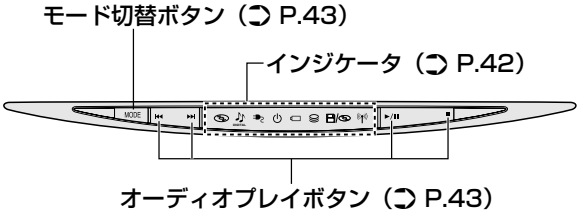
フロッピーディスクドライブ（➲ P.77）

ワイヤレスマウスシンクボタン（➲ P.70）

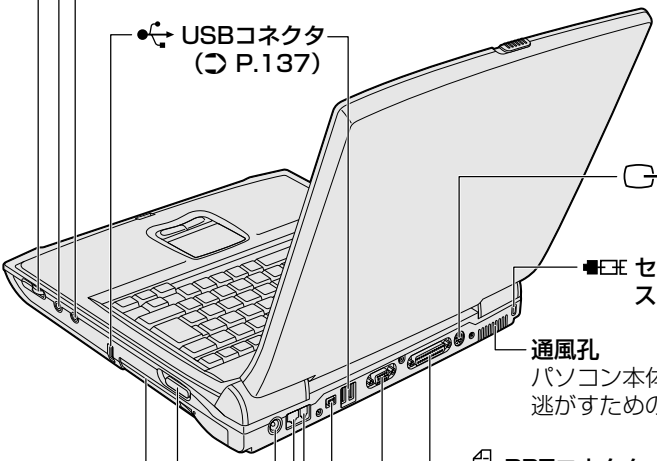
キーシフトインジケータ（➲ P.48）

赤外線ポート
赤外線ポートを使って、IrDA方式の赤外線ポートを持つ他の機器と通信が行えます。
赤外線通信を行う機器は、同じ通信用アプリケーションを使用してください。

【 拡大図 】



2 背面図



ボリュームダイヤル（P.75）

ヘッドホン出力端子（P.152）

マイク入力端子（P.151）

USBコネクタ（P.137）

S端子出力コネクタ（P.141）

セキュリティロック・スロット（P.89）

通風孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすための吹き出し口です。

PRTコネクタ（P.139）

RGBコネクタ（P.145）

i.LINK（IEEE1394）コネクタ（P.149）

モジュラージャック（P.22、86）

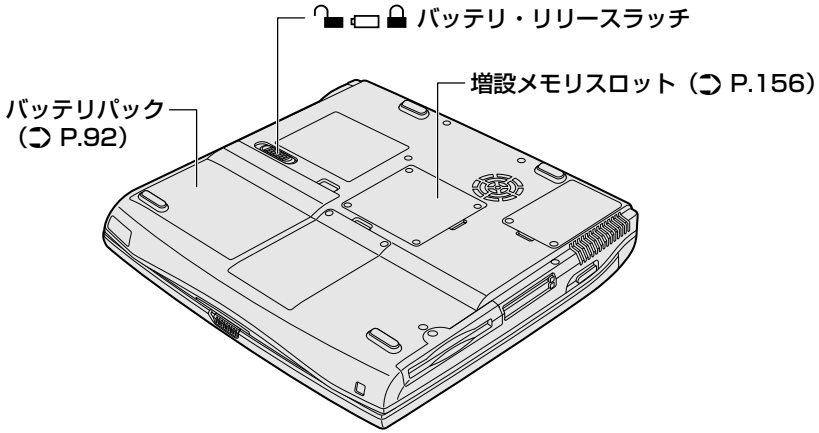
LANコネクタ（P.153）

電源コネクタ
付属のACアダプタを接続します。

キーボード・リリースラッチ（P.53）

マルチドライブ（P.83）

3 裏面図

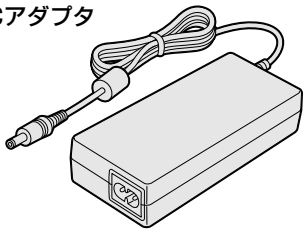


⚠ 注 意

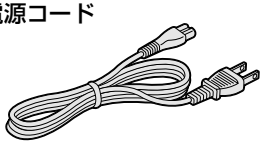
- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

【 付属品 】

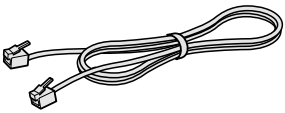
ACアダプタ



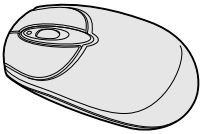
電源コード



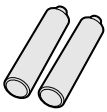
モジュラーケーブル



ワイヤレスマウス



単3乾電池2本



パソコン本体 / 電源コードの取り扱いと手入れ

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
  温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所／非常に高温または低温になる場所／急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）／強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）／ホコリの多い場所／振動の激しい場所／薬品の充満している場所／薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- 電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

【 仕様について 】

電源コードの仕様

本製品に同梱されている電源コードは、アメリカ合衆国、カナダ、日本の規格に準拠しています。
その他の地域で使用する場合は、別途電源コードを購入してください。
使用できる電圧（AC）は次のとおりです。

アメリカ合衆国 ： 125V
カナダ ： 125V
日本 ： 100V

日本では必ず AC100V のコンセントで使用してください。

※ 取得規格は、アメリカ合衆国：UL 規格、カナダ：CSA、日本：電気用品安全法です。

AC アダプタの仕様

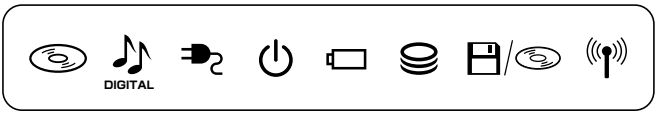
本製品に同梱されている AC アダプタは、海外でも使用できます。
AC アダプタの仕様は次のとおりです。

入力 ： AC100V ～ 240V、～ 1.5A、50/60Hz
出力 ： 19V、4.74A

2 インジケータと各ボタン

インジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。
インジケータと、オーディオプレイボタンについて説明します。

1 インジケータ



【 システムインジケータ 】

	DC IN LED	電源コードの接続 参照 P.31
	Power LED	電源の状態 参照 P.31
	Battery LED	バッテリの状態 参照 P.93
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている 参照 P.74
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスクドライブ／マルチドライブにアクセスしている 参照 P.77、84
	ワイヤレス コミュニケーション LED	無線 LAN の状態が有効なときに点灯する ＊本製品ではサポートしていません。無線 LAN モデルのみ有効です。

【 音楽に関するインジケータ 】

	CD/DVD モードアイコン	CD/DVD モード 参照 P.43、107、108
DIGITAL	デジタルモードアイコン	デジタルモード 参照 P.43、110

2 オーディオプレイボタン

モード切替ボタンで、CD/DVD モード（ ）、デジタルモード（ DIGITAL ）にしているときに、オーディオプレイボタンで操作できます。

1 オーディオプレイボタンを使うには

オーディオプレイボタンは、イージーボタンユーティリティの起動中のみ使用できます。
購入時は、Windows の起動と同時にイージーボタンユーティリティが起動するように設定されています。

1 通知領域に［Easy Button］アイコン（ ）が表示されていることを確認する

［Easy Button］アイコン（ ）が表示されていない場合はイージーボタンユーティリティを起動してください。

参照 イージーボタンユーティリティの起動方法「本節 ❸-1」

2 CD/DVD アイコン（ ）が表示されるまで、モード切替ボタンを押す

オーディオプレイボタンが使用できるようになります。
もう一度モード切替ボタンを３秒以上押すと、アイコンが消え、オーディオプレイボタンがロックされます。
モード切替ボタンを押すごとにモードが切り替わります。
モードの状態は、インジケータで確認できます。

- CD ／ DVD モード（ ）
  CD ／ DVD を再生できます。 参照 詳細について「5章 1、4」
- デジタルモード（ DIGITAL ）
  音楽ファイルを再生できます。 参照 詳細について「5章 2」

3 イージーボタンユーティリティ

イージーボタンユーティリティを起動すると、オーディオプレイボタンを使ったり、キー操作でスタンバイや休止状態を実行することができます。

1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Easy Button］→［Easy Button］をクリックする

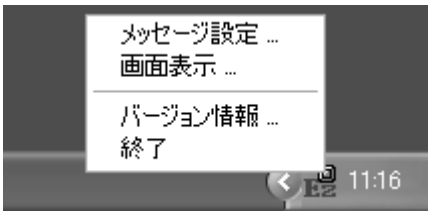
イージーボタンユーティリティが起動し、通知領域に［Easy Button］アイコン（ ）が表示されます。

2 設定方法

キーボードからスタンバイや休止状態を実行する場合や、オーディオプレイボタンを押したときに表示される文字／記号について、設定できます。

1 タスクバーの［Easy Button］（ ）アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューから目的の項目を選択する



【 メッセージ設定 】

イージーボタンユーティリティを起動中は、次のキー操作でスタンバイや休止状態を実行できます。

- (Fn)+(F3)キー：スタンバイ
- (Fn)+(F4)キー：休止状態

［メッセージ設定］を選択して表示される画面では、キーを押してスタンバイや休止状態を実行する前に、確認のメッセージを表示するかどうかを設定できます。
チェックをはずすと、キーを押したときにメッセージが表示されません。

【 画面表示 】

［画面表示］を選択して表示される画面では、オーディオプレイボタンを押したときに画面に ⏮ 、⏭ 、▶/⏸ 、■ などを表示するかどうかを設定できます。また、表示する場合、その表示時間、文字のフォント、色などを設定できます。

【 バージョン情報 】

イージーボタンユーティリティのバージョンが表示されます。

【 終了 】

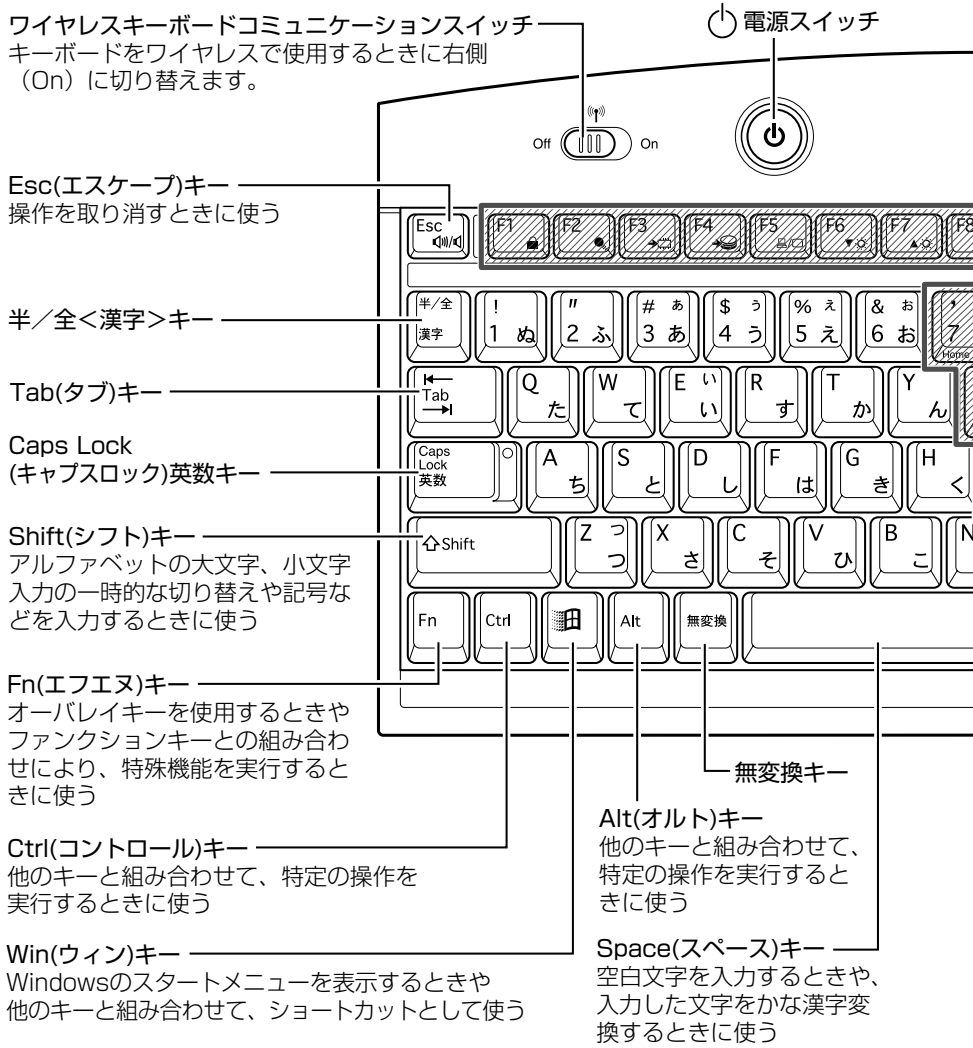
イージーボタンユーティリティを終了します。

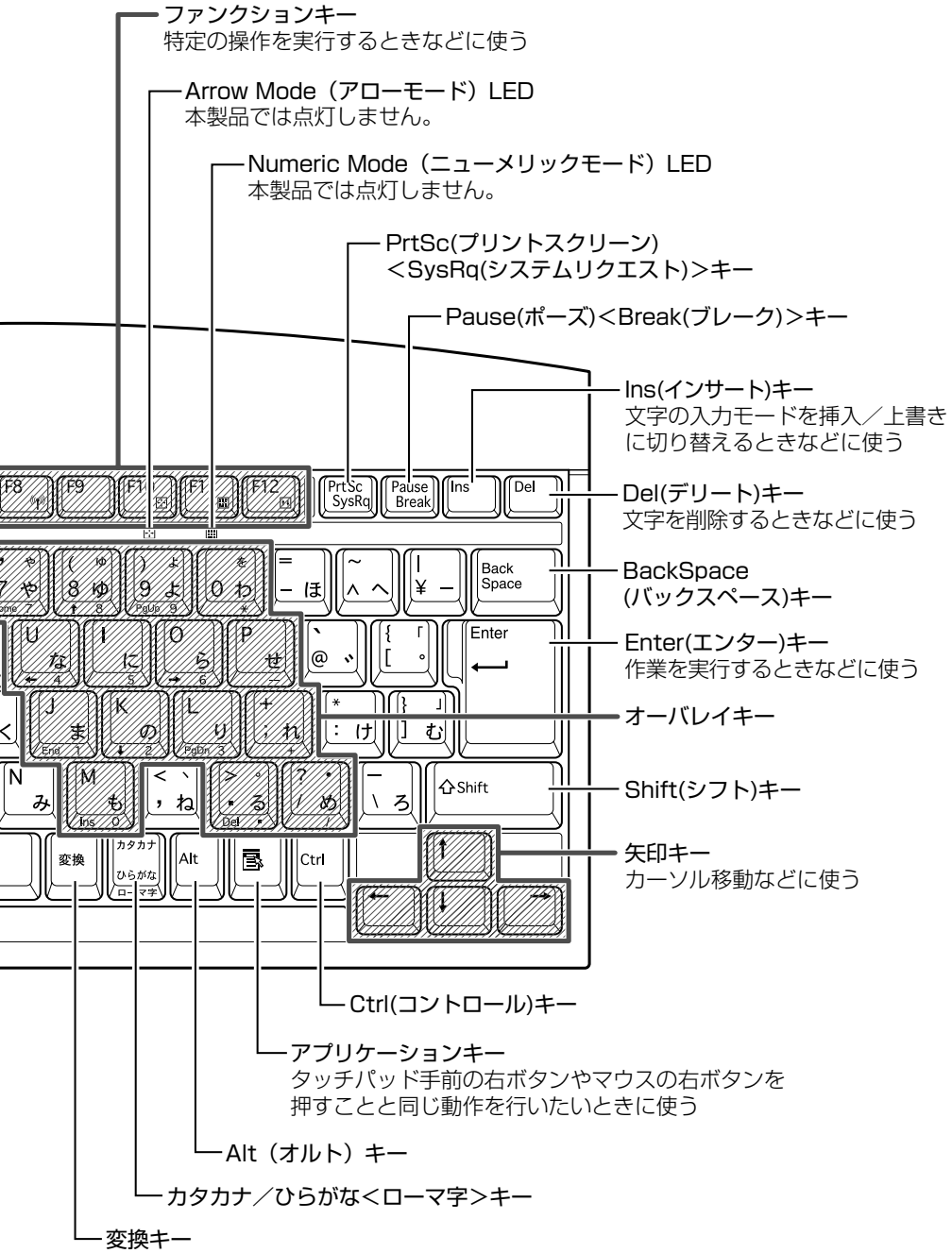
3 キーボード

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。
キーボードをワイヤレス（パソコン本体から取りはずした状態）で使うこともできます。

参照 ワイヤレスキーボードについて「本節 ❹」

1 キーボード図




ファンクションキー
特定の操作を実行するときなどに使う
Arrow Mode（アローモード）LED
本製品では点灯しません。
Numeric Mode（ニューメリックモード）LED
本製品では点灯しません。
PrtSc(プリントスクリーン)
<SysRq(システムリクエスト)>キー
Pause(ポーズ)<Break(ブレーク)>キー
Ins(インサート)キー
文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときなどに使う
Del(デリート)キー
文字を削除するときなどに使う
BackSpace
(バックスペース)キー
Enter(エンター)キー
作業を実行するときなどに使う
オーバレイキー
Shift(シフト)キー
矢印キー
カーソル移動などに使う
Ctrl(コントロール)キー
アプリケーションキー
タッチパッド手前の右ボタンやマウスの右ボタンを押すことと同じ動作を行いたいときに使う
Alt（オルト）キー
カタカナ／ひらがな<ローマ字>キー
変換キー

② キーシフトインジケータの切り替え

キーシフトインジケータは、どんな文字が入力できる状態かを示します。

各インジケータの役割と切り替え方法は、次の表のようになっています。それぞれの状態がオンになっているとき、LED が点灯します。

【 キーシフトインジケータ 】

LED	切り替えキー	文字入力の状態
Caps Lock LED A	Shift＋Caps Lock 英数	**大文字ロック状態** 文字キーで英字の大文字が入力できます。
Arrow Mode LED	Fn＋F10	**アロー状態** オーバレイキーで、キーの前面左側に印刷されたカーソル制御ができます。
Numeric Mode LED	Fn＋F11	**数字ロック状態** オーバレイキーで、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

それぞれの文字入力状態を解除するには、切り替えキーをもう 1 度押します。

3 キーを使った便利な機能

各キーにはさまざまな機能が用意されています。いくつかのキーを組み合わせて押すと、いろいろな操作が実行できます。

【Fnキーを使った特殊機能キー 】

キー	内容
Fn＋Esc 〈スピーカのミュート〉	内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にします。元に戻すときは、もう 1 度Fn＋Escキーを押します。
Fn＋F1 〈インスタント セキュリティ機能〉	［画面のプロパティ］で「プライマリ モニタ」に設定されている画面（購入時はパソコン本体のディスプレイになっています）の右上にカギアイコンが表示されます。 パスワードによる保護を設定（［画面のプロパティ］の［スリーンセーバー］タブで、［パスワードによる保護］または［再開時にようこそ画面に戻る］をチェック）しておくと、セキュリティを強化できます。解除するには、次の操作を行ってください。 ① Shiftキーや Ctrlキーを押す、またはタッチパッドを操作する ② ユーザが複数の場合はユーザ名をクリックする ③ パスワード入力画面に Windows のログオンパスワードを入力し、Enterキーを押す パスワードによる保護を設定していない場合は、Shiftキーや Ctrlキーを押す、またはタッチパッドを操作すると解除できます。
Fn＋F2 〈省電力モードの設定〉	Fn＋F2キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが表示されます。 Fnキーを押したまま、F2キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
Fn＋F3 〈スタンバイ機能の実行〉	イージーボタンユーティリティを起動している場合、Fn＋F3キーを押すとスタンバイが実行されます。 参照 イージーボタンユーティリティについて「本章 2-❸」

キー	内容
Fn＋F4 〈休止状態の実行〉	イージーボタンユーティリティを起動している場合、Fn＋F4キーを押すと休止状態が実行されます。 参照 イージーボタンユーティリティについて「本章 2-❸」
Fn＋F5 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を切り替えます。 参照 詳細について「6 章 5、6」
Fn＋F6 〈ディスプレイの輝度を下げる〉	Fnキーを押したまま、F6キーを押すたびに画面の輝度が1段階ずつ下がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。
Fn＋F7 〈ディスプレイの輝度を上げる〉	Fnキーを押したまま、F7キーを押すたびに画面の輝度が1段階ずつ上がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。
Fn＋F8 〈無線 LAN 機能の切り替え〉	ワイヤレスコミュニケーションスイッチを On 側にスライドしている場合、無線 LAN 機能の有効／無効を切り替えます。 ＊本製品ではサポートしておりません。無線 LAN モデルのみ有効です。
Fn＋F9 〈タッチパッドオン／オフ機能〉	タッチパッドからの入力を無効にできます。再び有効にするには、もう1度Fn＋F9キーを押します。 参照 「本章 4-❹」
Fn＋F10 〈オーバーレイ機能〉	キー前面左に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます（アロー状態）。 アロー状態を解除するには、もう1度Fn＋F10キーを押します。
Fn＋F11 〈オーバーレイ機能〉	キー前面右に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます（数字ロック状態）。 数字ロック状態を解除するには、もう1度Fn＋F11キーを押します。 アプリケーション（Microsoft Excel など）によっては異なる場合があります。

キー	内容
Fn＋F12 〈スクロールロック状態〉	一部のアプリケーションで↑↓←→キーを画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう1度Fn＋F12キーを押します。

【 ⊞キーを使ったショートカットキー 】

キー	操作
⊞＋R	［ファイル名を指定して実行］画面を表示する
⊞＋M	すべてをアイコン化する
Shift＋⊞＋M	すべてのアイコン化を元に戻す
⊞＋F1	『ヘルプとサポート』を起動する
⊞＋E	［マイコンピュータ］画面を表示する
⊞＋F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl＋⊞＋F	他のコンピュータを検索する
⊞＋Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⊞＋Break	［システムのプロパティ］画面を表示する

【 特殊機能キー 】

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャの起動	Ctrl＋Alt＋Del	［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。 アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	PrtSc	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	Alt＋PrtSc	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

4 ワイヤレスキーボード

本製品のキーボードは、内蔵のバッテリを充電して、ワイヤレス（パソコン本体から取りはずした状態）で使用できます。
初めてワイヤレスで使用するときは、バッテリを充電してから使用してください。

参照 ワイヤレスキーボードのバッテリの充電について「本項 2」

ここではワイヤレスキーボードを使用するうえで必要なことや、取り扱い方法について説明します。通常の操作方法については、『基本をマスター 1 章』を読んでください。

お願い ワイヤレスキーボードの使用にあたって

- ワイヤレスでの使用時間は、フル充電状態から約 20 日です。
  なお、パソコン本体の使用環境により異なりますので、使用時間は目安にしてください。
- 移動などの場合にワイヤレスキーボードに振動を与えたり、カバンの中などで常時ボタンが押された状態になると、ワイヤレスキーボードとして動作状態になりバッテリが消耗します。
  ワイヤレスキーボードをカバンなどに入れて持ち運ぶ場合は、ワイヤレスキーボードコミュニケーションスイッチを Off 側に切り替えてください。

- ワイヤレスキーボード本体からバッテリを抜いた場合は、ワイヤレスキーボードのID（番号）が初期化されます。よって、再度バッテリを装着した後にID登録を行ってください。

参照 ワイヤレスキーボードのID登録方法について「本項 3」

- 通信距離は約1mです。ただし、スチール机などの金属物の上など、使用環境により通信距離が短くなる場合があります。
  その場合はパソコン本体にワイヤレスキーボードを近づけてください。
- 27MHzの周波数帯の電波を使用しています。
  外部で同等の周波数を出す物が近くにあると、誤動作する可能性があります。
- パソコン本体前や下には金属製の物を置かないでください。
  通信距離が短くなります。
- 法律に罰せられることがあるので、本ワイヤレスキーボードを分解／改造しないでください。
- 使用上の制限について
  航空機内に持ち込む場合は、航空機内の計器類に影響を及ぼすおそれがあるので、ワイヤレスキーボードコミュニケーションスイッチをOff側に切り替えてください。
  同様に、電子機器や医療機器（例えばペースメーカー)などに影響を及ぼすおそれがあるので、病院など使用が禁止されている所では、ワイヤレスキーボードを使用しないでください。

1 ワイヤレスキーボードの使用方法

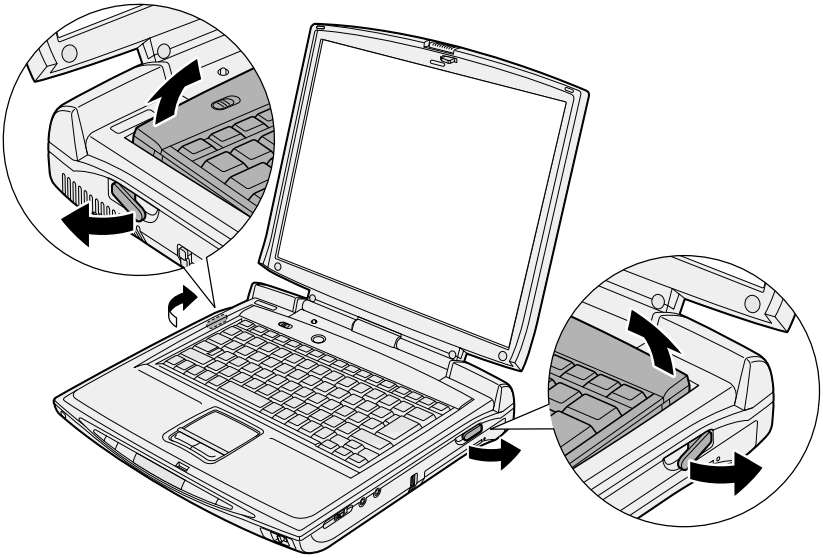
キーボードをワイヤレスで使うときは、キーボードをパソコン本体から取りはずし、ワイヤレスキーボードコミュニケーションスイッチをOn側に切り替えます。ワイヤレスキーボードのパソコン本体からの取りはずし／取り付け方法を説明します。

⚠ 注 意

- キーボードをパソコン本体から取りはずすときは、キーボード・リリースラッチに無理な力を加えないでください。キーボード・リリースラッチが壊れるおそれがあります。また、指などを傷つけるおそれがあります。

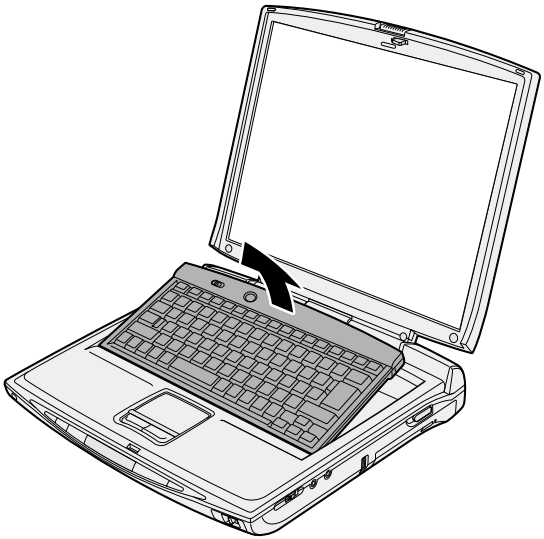
取りはずし

1 パソコン本体左右側面のキーボード・リリースラッチを外側に開く



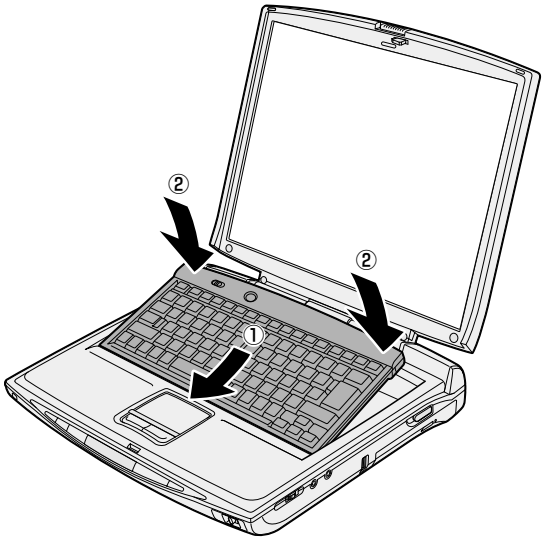
キーボード部分が斜めに持ち上がります。

2 キーボードをパソコン本体から取りはずす



取り付け

1 キーボードの手前部分をパソコン本体に斜めに差し込み①、奥側を静かに押し込む②

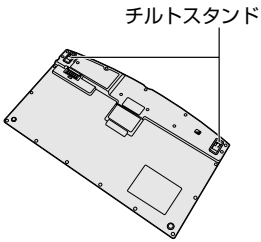


キーボード・リリースラッチが「カチッ」という音がするまで押し込んでください。

役立つ操作集

キーボードのチルトスタンド

キーボードをワイヤレスで使用するとき、キートップ面が低く、キー入力しづらい場合は、キーボード底面のチルトスタンドを立てて使用してください。なお、キーボードをパソコン本体に取り付けるときは、必ずチルトスタンドを収納してから取り付けてください。



2 バッテリについて

本製品を初めて使用するときは、バッテリを充電してから使用してください。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリパックを使用するときの重要事項が記述されています。ワイヤレスで使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠ 危 険

- バッテリパックのコネクタ・コードを傷つけたりしないでください。
  コードが破損してショートし、バッテリパックが発熱、破裂、発火のおそれがあります。

⚠ 警 告

- バッテリパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、東芝純正バッテリ(TOSHIBA バッテリパック:PABASK01)をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注 意

- バッテリパックの充電温度範囲内(10 ～ 30℃)で充電してください。
  充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- 別売りのバッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないでください。
  東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。

バッテリを充電する

ワイヤレスキーボードに内蔵されているバッテリの充電量が残りわずかになると、画面上に充電をうながすメッセージ(警告)が表示されます。次の手順で充電してください。

お願い

バッテリパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリは 10 ～ 30℃の室温で充電してください。

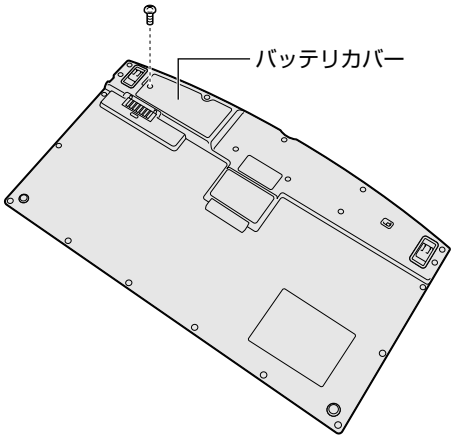
1 キーボードをパソコン本体に取り付けた状態でパソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントに接続する

約 4 時間でフル充電になります。

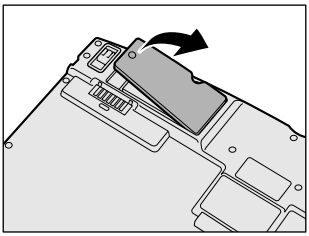
バッテリの交換

充電しても使用できる時間が短くなってきたときは、バッテリが消耗し、充電機能が低下している可能性があります。別売りのバッテリを購入し、次の手順で交換してください。

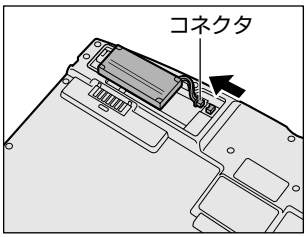
1 ワイヤレスキーボードを裏返し、バッテリカバーのネジをはずす



2 バッテリカバーをはずす



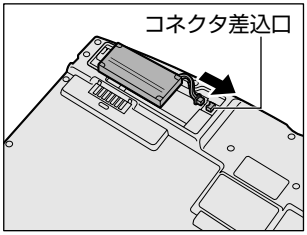
3 バッテリのコネクタ本体の近くを持って抜き、バッテリを取り出す



バッテリを取りはずすと、ワイヤレスキーボードのIDは初期化されます。バッテリを取り付け直してから再登録してください。

参照 ID登録について「本項 3」

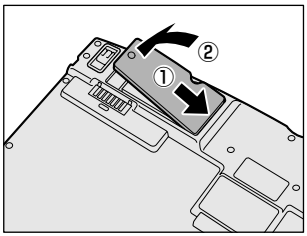
4 交換するバッテリのコネクタ本体の近くを持ち、コネクタ差込口に差し込む



コネクタの形状と向きに注意して正しく差し込んでください。

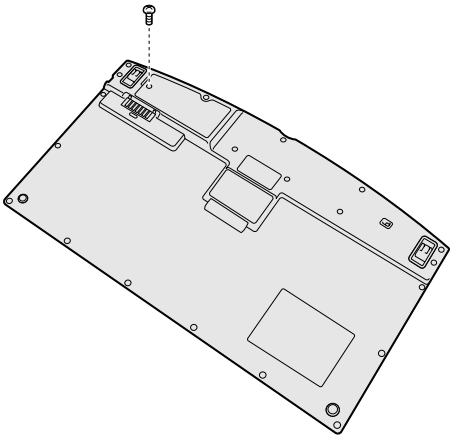
5 バッテリをセットする

6 バッテリカバーを取り付ける



バッテリカバー端のツメをキーボード本体にあわせ①、バッテリカバーを倒します②。バッテリのケーブルをはさまないように注意してください。

7 バッテリカバーを手順1ではずしたネジで止める



3 ワイヤレスキーボードの登録

ワイヤレスキーボードはパソコン本体に対して ID およびチャンネルを登録し、その識別コードをパソコンが認識することで使用できるようになります。

ワイヤレスキーボードの ID 登録は、256 個の ID をランダムに決定しています。ID を指定して登録したり、表示して確認することはできません。また、ワイヤレスキーボードには ID の他に 2 つのチャンネルが用意されており、これにより合計 512 個の組み合わせができます。チャンネルは 2 つのチャンネルのどちらか一方を任意に設定できます。

キーボード ID の再登録方法

周囲に本製品と同じパソコンが動作している場合、操作しにくくなる場合があります。この場合には ID の重複が考えられますので ID の再登録を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 キーボードをパソコン本体に取り付ける

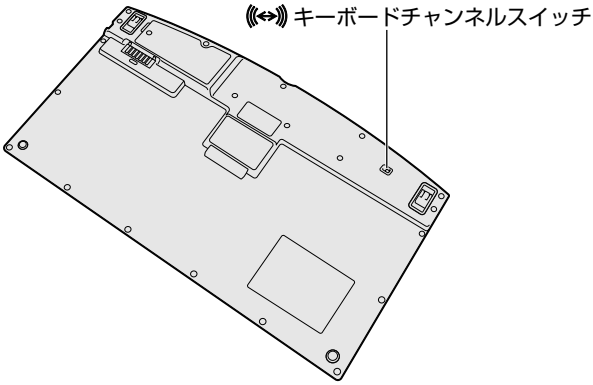
3 キーボードをパソコン本体から取りはずす

キーボード ID が自動的に設定され、Windows を起動している場合は、チャンネル 1 またはチャンネル 2 によって接続されことを表すメッセージが表示されます。メッセージは、しばらくすると、自動的に消えます。

チャンネルの再登録方法

周囲に本製品と同じパソコンが動作している場合、ワイヤレスキーボードが違うIDに設定されていても電波が混信して操作しにくくなる場合があります。その場合は、次の手順で隣接するパソコンと違うチャンネルに設定してください。また、本製品を複数で使用する環境では、双方で違うチャンネルに設定するようにしてください。

1 ワイヤレスキーボードを裏返し、キーボードチャンネルスイッチを切り替える



先の細い、丈夫なもので切り替えてください。

2 キーボードIDの再登録を行う

チャンネルを切り替えると、IDは無効になります。再登録してください。

参照 キーボードIDの再登録方法について「本項 3」

キーボードの取り扱いと手入れ

柔らかい乾いた素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、購入店、または東芝PC集中修理センタに相談してください。
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取りはずして、ただちに購入店、または東芝PC集中修理センタに点検を依頼してください。

4 タッチパッド

タッチパッドや右ボタン／左ボタンを、使いやすく設定できます。

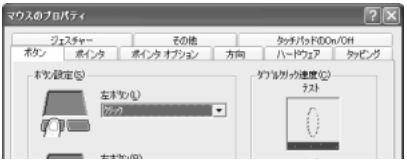
1 タッチパッドを設定するには

タッチパッドやポインタの設定は、「マウスのプロパティ」で行います。

1 「マウスのプロパティ」の設定方法

1 通知領域の［タッチパッドのOn/Off］アイコン（ ）をダブルクリックする

画面が表示されます。



2 各タブで機能を設定し、［OK］ボタンをクリックする

各機能の設定については、本節の以降の説明を参照してください。
［キャンセル］ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

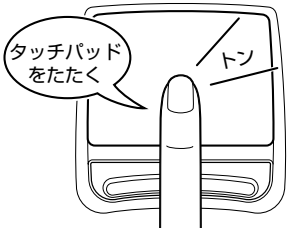
2 タッピング機能

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

1 タッピングの方法

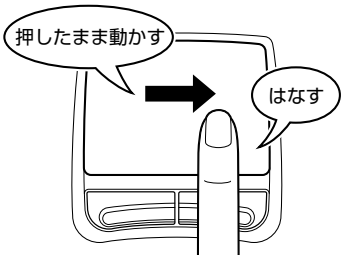
【 クリック / ダブルクリック 】

タッチパッドを１回軽くたたくとクリック、２回たたくとダブルクリックができます。



【 ドラッグアンドドロップ 】

タッチパッドを続けて２回たたき、２回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。



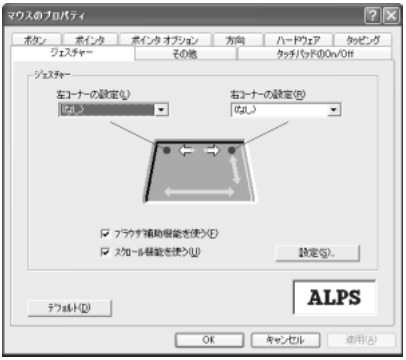
2 タッピング機能を設定する

タッピングのいろいろな設定は、［タッピング］タブでできます。［タッピング］タブで設定できる機能は、次のようになっています。

タッピング	チェックする（☑）と、タッピング機能が使用できます。続けてタッピングするときの速度は、［タッピング速度］のスライダーバーを動かして調節します。
ドラッグ	チェックするとドラッグロックを設定できます。 ［ドラッグロック］をチェックすると、タッピングでドラッグした場合、指を離してもドラッグ状態を保てます。 ［自動解除］を選択すると一定時間経ったらドラッグ状態を解除し、［タッピング又はクリックで解除］を選択するとタッピングまたはクリックでドラッグ状態を解除します。 自動解除の時間は、スライダーバーを動かして調節できます。
キー入力時タップしない	チェックする（☑）と、キーボードから文字を入力している間はタッピング機能が効かなくなります。入力中に意図しない場所をクリックしてしまうのを防ぐことができます。

3 タッピング機能を便利に使う

［ジェスチャー］タブで設定します。
タッチパッドの右上、左上をタッピングしたときの動作や、スクロール機能を設定できます。

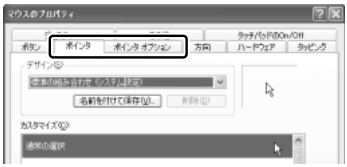


左コーナーの設定 右コーナーの設定	タッチパッドの左上、右上をタッピングしたときの動作を設定できます。
ブラウザ補助機能を使う	チェックする（☑）と、タッチパッドの上端に指を合わせて左右に動かしたときに、ブラウザの「進む」「戻る」の動作を行うことができます。
スクロール機能を使う	チェックする（☑）と、タッチパッドの右端、下端に指をあわせて上下または左右に動かしたときに、スクロール機能を使用できます。

役立つ操作集

ポインタの形や速度を変える

［マウスのプロパティ］では、ポインタの形や速さなどを変えることができます。
［ポインタ］タブでは形を、［ポインタオプション］タブでは速さとポインタを動かしたときの軌跡を設定できます。



3 その他の設定

［その他］タブは、タッチパッドの操作にあわせて音を鳴らしたり、タッチパッドで手書き入力をするなど、いろいろな設定ができます。

【 サウンドフィードバック 】

［使用する］をチェックすると、タッチパッドの操作にあわせてサウンドを鳴らすことができます。
［設定］ボタンをクリックすると、［サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ］画面が表示されます。
［サウンド］タブの［プログラムイベント］で「Alps Pointing Device Driver」の各場面のサウンド設定を行ってください。

【 トレイアイコン 】

［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックすると、通知領域に［タッチパッド］アイコン（ ）が表示されます。

【 IME キャプチャー 】

［使用する］をチェックすると、タッチパッドをIMEパッドの手書き入力エリアとして使用できます。
使用中は、ポインタが羽に変わります。使用中に右クリックすると入力エリアがクリアされ、左クリックすると使用が解除されます。

【 イージーキャプチャーの設定 】

イージーキャプチャー機能を使うと、ペイントを起動せずに簡単な絵を描いて、起動中のアプリケーションに貼り付けることができます。
イージーキャプチャー機能を使用する場合は、あらかじめ［ジェスチャー］タブの［左コーナーの設定］または［右コーナーの設定］で「イージーキャプチャー」を指定しておきます。

【 イージーランチャーの設定 】

イージーランチャー機能とは、ランチャー画面のボタンをクリックするだけで、「最小化」「閉じる」などの操作を実行したり、登録したアプリケーションやファイルを起動できる機能です。
イージーランチャー機能を使用する場合は、あらかじめ［ジェスチャー］タブの［左コーナーの設定］または［右コーナーの設定］で「イージーランチャー」を指定しておきます。

4 タッチパッドを無効／有効にするには

［タッチパッドのOn/Off］タブでは、タッチパッドによる操作を無効にしたり、有効にしたりすることができます。また、通知領域にアイコンを表示するかどうかを設定できます。

【 タッチパッドのOn/Off 】

［有効］をチェックするとタッチパッドが使用可能になり、［無効］をチェックするとタッチパッドからの操作ができなくなります。

【 オプション 】

［タスクバーにアイコンを表示する。］をチェックすると、通知領域に［タッチパッドの On/Off］アイコン（ ）が表示されます。購入時は、チェックされています。［タッチパッドの On/Off］アイコン（ ）を右クリックして表示されるメニューから、タッチパッドの無効／有効を設定できます。

タッチパッドの有効／無効は、Fn＋F9キーでも切り替えることかできます。
Fn＋F9キーでタッチパッドの操作を有効にした場合、タッチパッドの操作中にカーソルの動きが不安定になることがあります。そのような場合は、1 度タッチパッドから手を離してください。しばらくすると正常に操作できるようになります。

ヘルプの起動方法

1 ［マウスのプロパティ］画面を表示し、画面右上の ? をクリックする

マウスポインタが に変わります。

2 画面上の知りたい場所をクリックする

説明文がポップアップで表示されます。

5 ワイヤレスマウス

本製品には、ワイヤレスマウスが同梱されています。ワイヤレスマウスは、ケーブルでパソコン本体に接続しなくても、使用できます。
ここではワイヤレスマウスを使用するうえで必要なことや、取り扱い方法について説明します。通常の操作方法については、『基本をマスター 1 章』を読んでください。

お願い ワイヤレスマウスの使用にあたって

- 電池の寿命は、アルカリ乾電池を使用した場合で約 1ヶ月です。
  長期に使用しないときには電池を抜いてください。
- 移動などの場合にワイヤレスマウスに振動を与えたり、カバンの中などで常時ボタンが押された状態になると、ワイヤレスマウスとして動作状態になり電池が消耗します。
  ワイヤレスマウスをカバンなどに入れて持ち運ぶ場合は、電池をはずしてください。
- ワイヤレスマウス本体から電池を抜いた場合は、ワイヤレスマウスの ID（番号）が初期化されます。よって、再度電池を装着した後に ID 登録を行ってください。

参照 ワイヤレスマウスの ID 登録方法について「本節 ❷-1」

- 通信距離は約 1m です。ただし、スチール机などの金属物の上など、使用環境により通信距離が短くなる場合があります。
  その場合はパソコン本体にワイヤレスマウスを近づけてください。
- 27MHz の周波数帯の電波を使用しています。
  外部で同等の周波数を出す物が近くにあると、誤動作する可能性があります。
- パソコン本体前や下には金属製の物を置かないでください。
  通信距離が短くなります。
- 法律に罰せられることがあるので、本ワイヤレスマウスを分解／改造しないでください。
- 使用上の制限について
  航空機内に持ち込む場合は、航空機内の計器類に影響を及ぼすおそれがあるので、ワイヤレスマウス本体から電池 2 本を抜いてください。
  同様に、電子機器や医療機器（例えばペースメーカー)などに影響を及ぼすおそれがあるので、病院など使用が禁止されている所では、ワイヤレスマウスを使用しないでください。
- ワイヤレスマウスは、同梱品以外のものを使用できません。

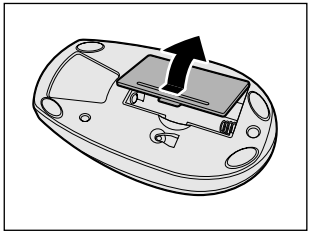
ワイヤレスマウスをしばらく使用しない場合は、次の手順でワイヤレスマウスを省電力モードにすると、乾電池の消耗を抑えることができます。
ワイヤレスマウス上面のホイールを押しながら、底面にあるボタンを押します。底面の LED ランプが一度消灯し、10 秒程たつと薄く点灯します。復帰するには、同様の手順を行い、LED ランプが明るく点灯することを確認してください。

1 電池の取り付け／取りはずし

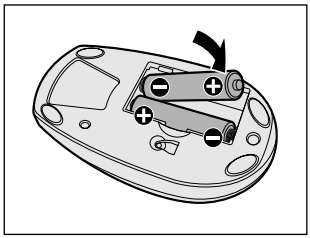
ワイヤレスマウスを使用するには、単３型電池を２本セットする必要があります。
取り付け／取りはずしは、次のように行ってください。

1 取り付け

1 ワイヤレスマウスを裏返し、電池カバーを取りはずす

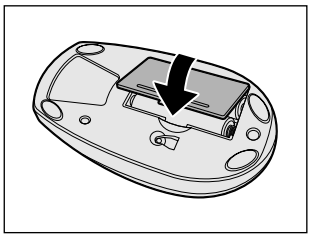


2 電池をセットする



図のように、＋（プラス）と－（マイナス）をあわせて、電池をセットしてください。

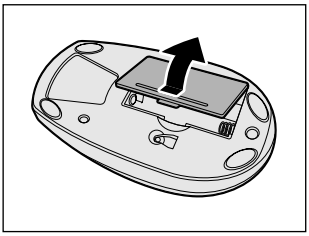
3 電池カバーを取り付ける



2 取りはずし

電池が消耗すると、画面上に電池交換をうながすメッセージ（警告）が表示されます。次のように電池を取りはずしてから、新しい電池を取り付け、電池を交換してください。

1 ワイヤレスマウスを裏返し、電池カバーを取りはずす



2 電池を取りはずす

電池を取りはずすと、ワイヤレスマウスのIDは初期化されます。電池を取り付け直してから再登録してください。

参照 ID登録について 「本節 ❷-1」

2 ワイヤレスマウスの登録

ワイヤレスマウスはパソコン本体に対してIDおよびチャンネルを登録し、その識別コードをパソコンが認識することで使用できるようになります。

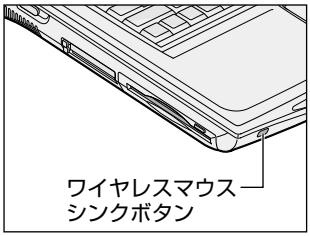
ワイヤレスマウスのID登録は、256個のIDをランダムに決定しています。IDを指定して登録したり、表示して確認することはできません。また、ワイヤレスマウスにはIDの他に2つのチャンネルが用意されており、これにより合計512個の組み合わせができます。チャンネルは2つのチャンネルのどちらか一方を任意に設定できます。

1 IDの再登録方法

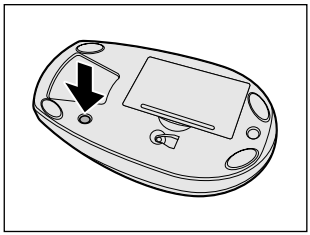
マウスには、あらかじめ電池を取り付けておいてください。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 ワイヤレスマウスシンクボタンを押す



3 マウスの底面にあるボタンを押す



マウス ID が自動的に設定され、Windows を起動している場合は、チャンネル 1 またはチャンネル 2 によって接続されたことを表すメッセージが表示されます。メッセージは、しばらくすると、自動的に消えます。

手順 2 ～ 3 は 10 秒以内に行ってください。
手順 2 でワイヤレスマウスシンクボタンを押してから手順 3 までの操作に 10 秒以上かかってしまった場合、ID は登録されません。手順 2 からやり直してください。

ワイヤレスマウスの電池を取りはずすと、ID は初期化されます。電池を取り付け直してから再登録してください。

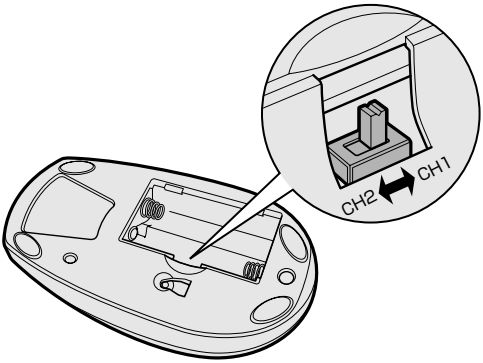
2 チャンネルの再登録方法

周囲に本製品と同じパソコンが動作している場合、ワイヤレスマウスが違う ID に設定されていても電波が混信して操作しにくくなる場合があります。その場合は、次の手順で隣接するパソコンと違うチャンネルに設定してください。また、本製品を複数で使用する環境では、双方で違うチャンネルに設定するようにしてください。

1 ワイヤレスマウスを裏返し、電池カバーを取りはずす

2 電池を取りはずす

3 マウスチャンネルスイッチを切り替える



先の細い、丈夫なもので切り替えてください。

4 マウス ID の再登録を行う

チャンネルを切り替えると、ID は無効になります。再登録してください。

参照 マウス ID の再登録方法について 「本節 ❷-1」

6 ディスプレイ

本製品には表示装置としてTFT方式カラー液晶ディスプレイ（1280 × 1024ドット）が内蔵されています。ドットは点の数を表します。
テレビと同じようにブラウン管を発光させて表示する、CRTディスプレイを接続して使用することもできます。

参照 CRTディスプレイの接続について「6章 6」

表示について

TFT方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られておりますが、ごく一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在することがあります。故障ではありませんので、あらかじめ了承してください。

表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

2048 × 1536ドット	1,677万色
1920 × 1440ドット	1,677万色
1600 × 1200ドット	1,677万色
1280 × 1024ドット	1,677万色
1024 × 768ドット	1,677万色
800 × 600ドット	1,677万色

1280 × 1024ドットを超える表示は仮想スクリーン表示になります。

メモ

1,677万色はディザリング表示です。
ディザリングとは、1ピクセル（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法です。

液晶ディスプレイの取り扱い

画面の手入れ

- 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
  表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
  液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

サイドライト用FL管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用FL管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用FL管（冷陰極管）は、使用するにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、使用している機種を確認してから、購入店、または東芝PC集中修理センタに相談してください。有償にて交換いたします。

7 ハードディスクドライブ

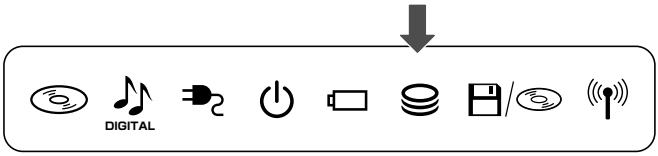
内蔵されているハードディスクドライブは、取りはずしできません。
PC カードタイプ（TYPE Ⅱまたは TYPE Ⅲ）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすことができます。

お願い　操作にあたって

- Disk LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起ったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクや CD-R、CD-RW などに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-R、CD-RW などに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめ了承してください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

1 ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk LED が点灯します。



PC カードタイプや i.LINK（IEEE1394）対応機器などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk LED は点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は、故障や損害の原因にかかわらず保証できません。
万一故障した場合に備え、バックアップを取ることを推奨します。

8 サウンド機能

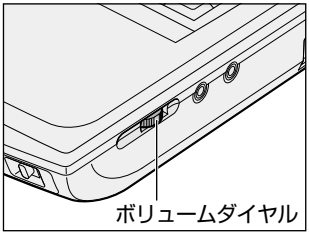
本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカがついています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。
スピーカの音量は、ボリュームダイヤル、またはWindowsの「ボリュームコントロール」で調整できます。

1 ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。



2 ボリュームコントロールで調整する

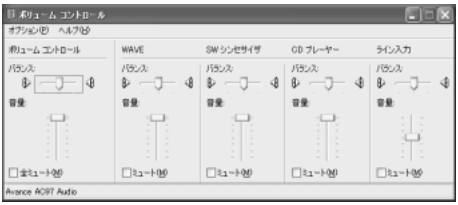
再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］をクリックする

［ボリュームコントロール］画面が表示されます。

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。［ミュート］をチェックすると消音となります。



【 音楽／音声を再生するとき 】
「ボリュームコントロール」の各項目では次の音量が調整できます。

ボリュームコントロール	全体の音量を調整する
WAVE	MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽 CD（Windows Media Player の場合）、DVD-ROM、DVD-Video など
CD プレーヤー	音楽 CD（Windows Media Player 以外の場合）

また、使用するアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』を確認してください。

2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

1 パソコン上で録音するとき

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］をクリックする
［ボリュームコントロール］画面が表示されます。

2 メニューバーの［オプション］→［プロパティ］をクリックする

3 ［音量の調整］で［録音］をチェックする

4 ［表示するコントロール］をチェックする
［マイク］がチェックされていることを確認します。

5 ［OK］ボタンをクリックする

6 ［録音コントロール］画面で、使用するデバイスの［選択］をチェックする
［マイク］：外部マイクから録音するとき

7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する
同時に 2 つのデバイスを選択することはできません。
録音したい音楽／音声が「ボリュームコントロール」の［WAVE］対応の場合、録音するときも［WAVE］の音量により影響を受けます。

9 フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクには、文書や表などのデータを保存することができます。

1 フロッピーディスク

フロッピーディスクについて説明します。

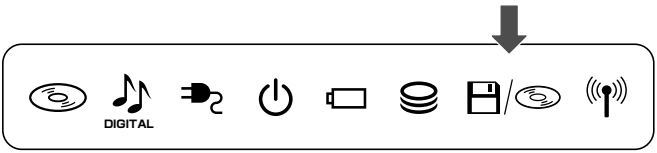
1 使用できるフロッピーディスクの種類

本製品で使用できるフロッピーディスクには 2 種類あり、それぞれの機能は次のとおりです。

フロッピーディスクの種類	1 枚に保存できる容量	読み出し / 書き込み	フォーマット
2DD タイプ	720KB	可	不可
2HD タイプ	1.44MB	可	可

2 フロッピーディスクドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、FDD/CD-ROM /LEDが点灯します。



2 フロッピーディスクのセットと取り出し

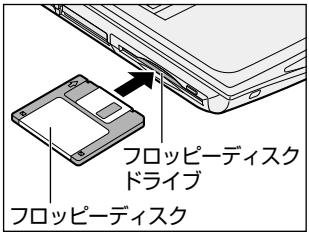
フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

⚠ 注 意

- パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM /LEDが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。
  フロッピーディスクのデータやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。

1 フロッピーディスクのセット

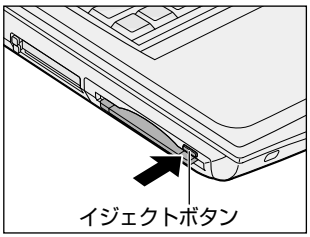
1 フロッピーディスクの隅に示されている矢印の向きにあわせて挿入する



「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。

2 フロッピーディスクの取り出し

1 イジェクトボタンを押す



フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

3 フロッピーディスクの内容を確認する

1 ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする

［マイ コンピュータ］画面が表示されます。

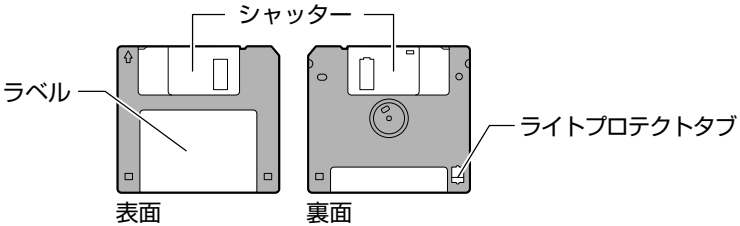
2 ［ 3.5 インチ FD（A:)］をダブルクリックする

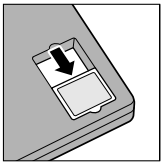
［3.5 インチ FD（A:)］画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

3 フロッピーディスクを使う前に

1 ライトプロテクトタブ

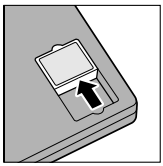
フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを動かすことにより、誤ってデータを消さないようにできます。





書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクは、データの書き込みはできず、読み取りしかできません。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りも可能です。

2 フォーマットとは

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム（OS）にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。
フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

お願い

フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

次のフロッピーディスクは、フォーマットしてから使用してください。

- フォーマットされていないもの
- Windows 以外のシステムでフォーマットされたもの

フォーマットには、「クイックフォーマット」と「MS-DOS の起動ディスクを作成する」というオプションがあります。必要に応じて設定してください。
オプションを何も設定しないでフォーマットを開始すると、通常のフォーマットが行われます。
すべてのファイルが消去され、基本情報が書き込まれます。ディスクの損傷があるかどうかもチェックされます。

【 クイックフォーマット 】

以前に Windows でフォーマットしたことのあるフロッピーディスクに実行できます。クイックフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されますが、基本情報の書き込みなどは行われません。フロッピーディスクが壊れているおそれのある場合は、クイックフォーマットは行わないでください。

【 MS-DOS の起動ディスクを作成する 】

フォーマットまたはクイックフォーマットを行った後、MS-DOS の起動ディスクとして必要な情報をフロッピーディスクに書き込みます。作成を行うと、ファイルや基本情報などのすべての情報が消去されます。

3 フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、『ヘルプとサポート』を確認してください。

1 フロッピーディスクドライブに、フォーマットするフロッピーディスクをセットする

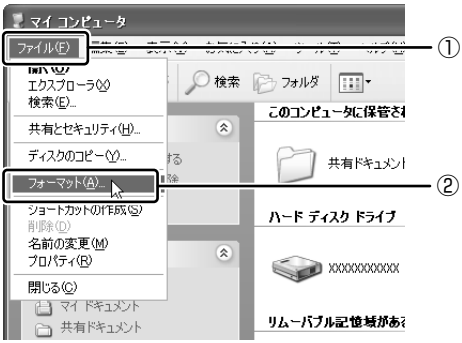
2 ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする

［マイ コンピュータ］画面が表示されます。

3 ［ 3.5 インチ FD（A:)］をクリックする

［3.5 インチ FD（A:)］が選択され、アイコンの色が反転します。

4 メニューバーの［ファイル］をクリックし①、表示されたメニューから［フォーマット］をクリックする②



アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。

［フォーマット 3.5 インチ FD（A:)］画面が表示されます。

5 必要に応じて［フォーマットオプション］を設定し、［開始］ボタンをクリックする

クイックフォーマットを行う場合は、［クイックフォーマット］をチェックしてから、［開始］ボタンをクリックしてください。

メッセージが表示されます。

6 メッセージの内容を確認し、［OK］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

画面下のバーは進行状況を示しています。初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。

7 メッセージの内容を確認し、［OK］ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。
他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順 5 から実行します。
フォーマットを終了する場合は、［フォーマット 3.5 インチ FD（A:)］画面で［閉じる］ボタンをクリックしてください。

フロッピーディスクドライブの取り扱い

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
  フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめ了承してください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
  汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
  記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5～35℃	4～53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
  貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品を使用してください。
  他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号：M4293	2HD形式
製品番号：M4216	2DD形式

10 マルチドライブ

本製品にはマルチドライブが内蔵されています。マルチドライブはCD-R/RWドライブとDVD-ROMドライブ両方の機能を持ちます。
『安心してお使いいただくために』に、CD／DVDを使用するときに守ってほしいことが記述されています。
CD／DVDを使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

お願い

DVD-Video再生時は、ACアダプタを接続した状態で使用することを推奨します。また、使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちするケースがあります。

1 CD／DVDについて

CD、DVDについて説明します。

1 使用できるCD

読み込みできるCDは、次の種類です。

- 音楽用CD
  8cmまたは12cmの音楽用CDが聴けます。
- フォトCD
  普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録されています。
- CD-ROM
  使用するシステムに適合するISO 9660フォーマットのものが使用できます。
- CDエクストラ
  記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

書き込みできるCDは次の種類です。

- CD-R
  書き込みは1回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
  CD-Rメディアに書き込む際には、16倍速対応CD-Rメディアを使用してください。
- CD-RW
  CD-RWメディアに書き込む際には、2／4倍速対応（マルチスピード）CD-RWメディアまたはHigh-Speed CD-RW（4～10倍速）対応メディアを使用してください。

2 使用できるDVD

読み込みできるDVDは、次の種類です。

- DVD-ROM　- DVD-Video（映像再生用です。映画などが収録されています）

3 マルチドライブに関する表示

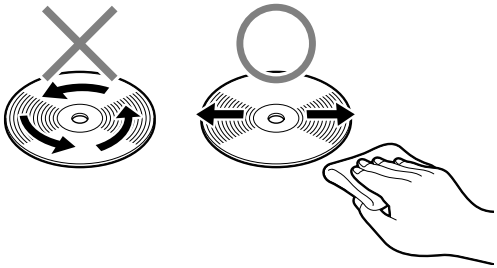
パソコン本体の電源が入っている場合、マルチドライブが動作しているときは、FDD/CD-ROM /LEDが点灯します。

CD／DVDの取り扱いと手入れ

CD／DVDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- CD／DVDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD／DVDを読み込むことができなくなります。
- CD／DVDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD／DVDの上に重いものを置かないでください。
- CD／DVDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD／DVDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD／DVDのデータ記憶面に文字などを書かないでください。

- CD ／ DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。
  円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



11 内蔵モデムについて

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを 2 線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90 に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。

お願い　内蔵モデムの操作にあたって

- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。
- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。
  - 分岐アダプタとは
    1 つの電話回線に電話とパソコンなど複数の機器を接続できるよう、モジュラージャックのコネクタを複数に分ける機器。
  - 回線切換器とは
    1 つの電話回線に複数の機器を接続できるよう、モジュラージャックのコネクタを複数に分け、自動的に接続を切り替える機器。

1 海外でインターネットに接続する

本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

（2002 年 6 月現在）

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。
本製品を日本で使用する場合は、必ず日本モードで使用してください。他地域のモードで使用すると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

地域設定は、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」でのみ行ってください。
「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」以外で地域設定の変更をした場合、正しく変更できない場合があります。

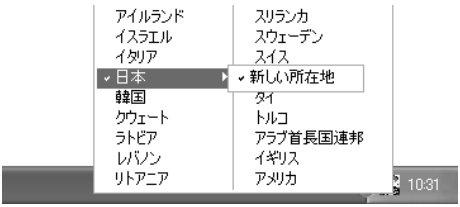
1 設定方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA Internal Modem］→［Region Select Utility］をクリックする

［Internal Modem Region Select Utility］アイコン（ ）が通知領域に表示されます。

2 通知領域の［Internal Modem Region Select Utility］アイコン（ ）をクリックする

内蔵モデムがサポートする地域のリストが表示されます。
現在設定されている地域名と、サブメニューの所在地情報名にチェックマークがつきます。



3 使用する地域名または所在地情報名を選択し、クリックする

［地域名を選択した場合］

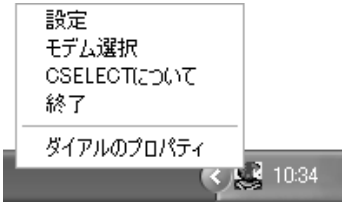
［新しい場所設定作成］画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、［電話とモデムのオプション］画面が表示されて、新しく所在地情報を作成します。
新しく作成した所在地情報が現在の所在地情報になります。

［所在地情報名を選択した場合］

その所在地情報に設定されている地域でモデムの地域設定を行います。
選択された所在地情報が現在の所在地情報になります。

2 その他の設定

1 通知領域の［Internal Modem Region Select Utility］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから項目を選択する



【 設定 】

チェックボックスをクリックすると、次の設定を変更することができます。

自動起動モード	システム起動時に、自動的に「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」が起動し、モデムの地域設定が行なわれます。
地域選択後に自動的にダイアルのプロパティを表示する	地域選択後、［電話とモデムのオプション］の［ダイヤル情報］画面が表示されます。
場所設定による地域選択	［電話とモデムのオプション］の所在地情報名が地域名のサブメニューに表示され、所在地情報名から地域選択ができるようになります。
モデムとテレフォニーの現在の場所設定の地域コードとが違っている場合にダイアログを表示	モデムの地域設定と、［電話とモデムのオプション］の現在の場所設定の地域コードが違っている場合に、メッセージ画面を表示します。

【 モデム選択 】

COM ポート番号を選択する画面が表示されます。内蔵モデムを使用する場合、通常は自動的に設定されますので、変更の必要はありません。

【 ダイアルのプロパティ 】

［電話とモデムのオプション］の［ダイヤル情報］画面を表示します。

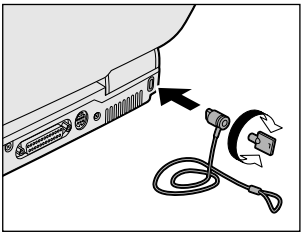
12 セキュリティロック

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。

セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを、購入店に確認してください。

1 セキュリティロック用機器の取り付け

1 セキュリティロック・スロットにセキュリティロック用の機器（別売り）を接続する



４章

バッテリ駆動

パソコンをモバイルで使用する際に大事な存在であるバッテリは、使いかたによっては長持ちさせることができます。
ここでは、充電や充電量の確認、省電力の設定など、バッテリを使用するにあたっての取り扱い方法や各設定について説明しています。

1　バッテリについて　92
2　省電力の設定をする　99

1 バッテリについて

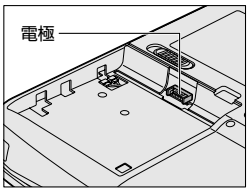
パソコン本体には、バッテリパックが取り付けられています。
バッテリを充電して、バッテリ駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使うことができます。
バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめ AC アダプタを接続してバッテリの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリパックを取り付けます。
本製品を初めて使用するときは、バッテリを充電してから使用してください。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

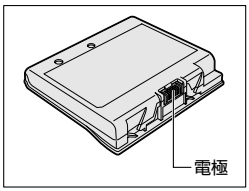
⚠ 警 告

- バッテリパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、東芝純正バッテリ（TOSHIBA バッテリパック：PABAS024）をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注 意

- バッテリパックの充電温度範囲内（10 ～ 30℃）で充電してください。
  充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- 別売りのバッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないでください。
  東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。
- バッテリ駆動で使用しているときは、バッテリの残量に十分注意してください。
  バッテリ（バッテリパック、時計用バッテリ）を使いきってしまうと、スタンバイが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度全バッテリを充電するために、AC アダプタを接続して充電してください。
- バッテリパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スタンバイを実行している場合は、バッテリパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 本体側の電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



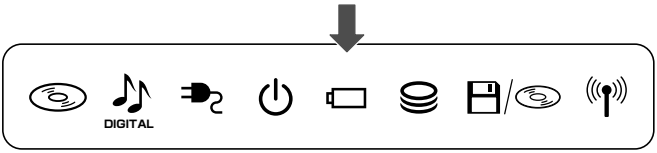


1 バッテリ充電量を確認する

バッテリ駆動で使う場合、バッテリの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリの充電量を確認しておく必要があります。

1 Battery LEDで確認する

AC アダプタを使用している場合、Battery LED が緑色に点灯すれば充電完了です。



バッテリ駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリの充電が必要です。Battery LED は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	・バッテリが接続されていない（AC アダプタ使用中） ・バッテリ異常（AC アダプタ使用中）

2 通知領域の［省電力］アイコンで確認する

通知領域の［省電力］アイコン（ ）の上にポインタを置くと、バッテリ充電量が表示されます。
このときバッテリ充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。

参照 省電力設定について「本章 2」

1ヶ月以上の長期にわたり、ACアダプタを接続したままパソコンを使用してバッテリ駆動を行わないと、バッテリ充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリ充電量が減少したときは、Battery LEDや［省電力］アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヶ月に1度は再充電することを推奨します。

参照 再充電の方法について「本節 ❷-2」

3 バッテリ充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

- Battery LEDがオレンジ色に点滅する（バッテリの減少を示しています）
- バッテリのアラームが動作する
  東芝省電力ユーティリティの［アラーム］タブで設定すると、バッテリの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

①パソコン本体にACアダプタを接続し、電源を供給する
②電源を切ってから、フル充電のバッテリパックと取り換える

購入時は休止状態が設定されています。バッテリ減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

長時間使用しないでバッテリが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、Battery LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

時計用バッテリ

本製品には、取りはずしができるバッテリパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリが内蔵されています。
時計用バッテリの充電は、ACアダプタを接続しているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識する必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。

【 充電完了までの時間 】

状態	時計用バッテリ
電源 ON（Power ⏻ LED が点灯）	約 24 時間
電源 OFF（Power ⏻ LED が消灯）	約 24 時間

実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

2 バッテリを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い

バッテリパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリは 10 ～ 30℃の室温で充電してください。

1 充電方法

1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN LED が緑色に点灯して Battery LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF にかかわらず充電されます。

2 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリの充電中は Battery LED がオレンジ色に点灯します。
DC IN LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

【 充電完了までの時間 】

状態	充電時間
電源 ON	約 9 時間以上
電源 OFF	約 4 時間

（注）周囲の温度が低いとき、バッテリパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

【 使用できる時間 】

バッテリ駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。
次の時間は、充電完了の状態で使用した場合の目安にしてください。

測定法	動作時間
JEITA 測定法	約 2.5 時間

2 バッテリを長持ちさせるには

- 1ヶ月以上の長期間バッテリを使わない場合は、パソコン本体からバッテリパックをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- 1ヶ月に 1 度は、AC アダプタをはずしてバッテリ駆動でパソコンを使用してください。
  その際には、パソコンを使用する前に次の方法で再充電してください。

1 パソコン本体の電源を切る

2 パソコン本体から AC アダプタをはずし、パソコンの電源を入れる

電源が入らない場合は手順 4 へ進んでください。

3 5 分程度バッテリ駆動を行う

この間、Battery LED が点滅するか、充電量が少なくなったなどの警告が表示された場合は、すぐに AC アダプタを接続し、手順 4 へ進みます。

4 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN LED が緑色に点灯して Battery LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

5 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリの充電中は Battery LED がオレンジ色に点灯します。
DC IN LED が消灯している場合は、通電していません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

【 バッテリを節約する 】

バッテリを節約して、本製品をバッテリ駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする 参照 「2 章 3-❷」
- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく 参照 「2 章 3-❸」
- 省電力モードに設定する 参照 「本章 2」

3 バッテリパックを交換する

バッテリパックの交換方法を説明します。
バッテリパックの取りはずし／取り付けのときには、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

1 取りはずし／取り付け

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 ［スタート］→［終了オプション］をクリックする

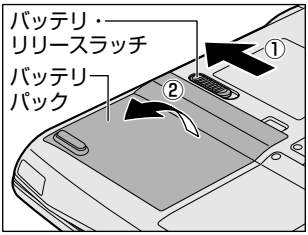
3 ［電源を切る］をクリックする

Windows を終了して電源が切れます。

4 パソコン本体から AC アダプタと周辺機器のケーブル類をはずす

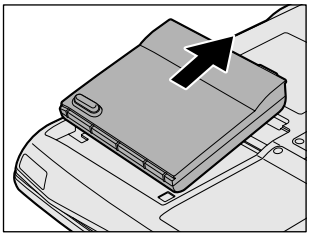
5 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

6 バッテリ・リリースラッチを奥までスライドする①

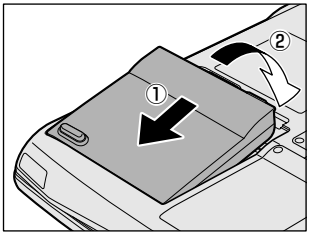


バッテリパックが持ち上がります②。

7 バッテリパックを取り出す



8 交換するバッテリパックをコネクタに斜めに挿入し①、静かに差し込む②



新しいあるいは充電したバッテリパックを注意して差し込んでください。
バッテリ・リリースラッチが自動的にスライドして、「カチッ」という音がします。

2 省電力の設定をする

バッテリ駆動でパソコンを使用しているときに、消費電力を減らす設定をする（ディスプレイの明るさを抑えるなど）と、より長い時間使用できます。

1 省電力ユーティリティ

省電力の設定は「東芝省電力ユーティリティ」から行います。
AC アダプタを接続して使う場合には、特に設定する必要はありません。

1 東芝省電力ユーティリティの起動方法

1 ［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

2 ［ 東芝省電力］をクリックする

［東芝省電力ユーティリティ］画面が表示されます。

2 ［バッテリ使用時］タブと［電源接続時］タブ

使用目的や使用環境（モバイル、会社、家など）にあわせて、省電力に関する設定を自由に編集することができます。ここでは、ディスプレイの輝度、ディスプレイやハードディスクの電源を切る時間、スタンバイや休止状態を実行するまでの時間を設定します。

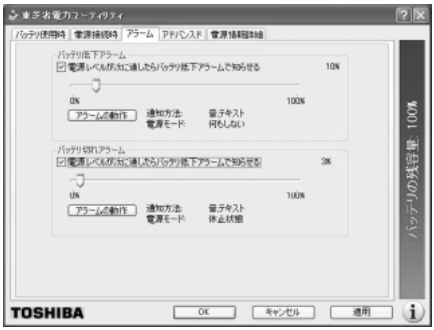
［省電力モード］で設定する省電力モードのアイコンをクリックしたあと、各項目のスライダバーを動かして設定します。
［バッテリ使用時］タブでは、バッテリ残容量が 0 ～ 25%、26 ～ 50%、51 ～ 75%、76 ～ 100% の状態ごとに各項目を設定できます。
［標準設定］をクリックすると、購入時の設定状態に戻ります。

フルパワー	最高性能で動作する、消費電力が一番大きいモードです。購入時の初期状態では、AC アダプタを使用するときがこのモードに設定されています。
ロングライフ	消費電力を優先して省電力制御を行います。
標準	性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。購入時の初期状態では、バッテリ駆動で使用するときがこのモードに設定されています。
ハイパワー	性能を優先して省電力制御を行います。
ユーザー設定	独自の省電力モードを作成します。

これらの省電力モードは、電源の供給状態によって、各項目があらかじめ設定されています。

3 [アラーム] タブ

バッテリ残量が少なくなったことをユーザに通知する方法および実行する動作を設定します。



4 ［アドバンスド］タブ

省電力アイコンの通知領域への表示、電源スイッチを押したときやパソコンのディスプレイを閉じたときの動作、CPU が高温になったときの冷却方式を設定します。

［オプション］

【 タスクバーに省電力モードの状態を表示する 】

チェックする（ ☑ ）と現在の省電力モードを示す［省電力］アイコン（ ）が通知領域に表示されます。
［省電力］アイコンをダブルクリックすることにより、東芝省電力ユーティリティを起動できます。

【 スタンバイおよび休止状態から復帰するときにパスワードの入力を求める 】

チェックする（ ☑ ）と、Windows のパスワードを設定している場合には、スタンバイまたは休止状態から復帰するときに Windows パスワードの入力が必要になります。

【 休止状態をサポートする 】

チェックする（ ☑ ）と、休止状態を有効にします。

【 ポータブルコンピュータのふたを開いたとき、自動的に復帰する 】

チェックする（ ☑ ）と、［電源ボタン］の［コンピュータを閉じたとき］で［スタンバイ］または［休止状態］に設定し、ディスプレイを閉じて作業を中断した場合、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。
バッテリ駆動時に休止状態になった場合、この項目をチェックしていても、ディスプレイを開いて自動的に復帰させることはできません。電源スイッチを押して復帰させてください。

[電源ボタン]

ここでは、電源スイッチを押したときやパソコンのディスプレイを閉じたときの動作を設定します。

お願い

- 次のような場合はスタンバイが無効になり、保存されていないデータは消失します。
  - ・誤った使いかたをしたとき
  - ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - ・バッテリが消耗したとき
  - ・故障、修理、バッテリ交換のとき
  - ・バッテリ駆動で使用中にバッテリパックを取りはずしたとき
  - ・増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき
- 休止状態中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。
  Disk LEDが点灯中は、バッテリパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをすると、休止状態が無効になり、保存されていないデータは消失します。

【 スタンバイ 】

スタンバイとは、作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、中断したときの状態をすばやく再現することができますが、休止状態よりバッテリを消耗します。バッテリを使い切るとデータは消失するので、スタンバイ実行時は、ACアダプタを取り付けて使用することを推奨します。

自動的にスタンバイが実行されるとき

購入時の設定のまま、ACアダプタを電源に接続して30分以上放置した場合、システムはスタンバイを実行します。
この場合、スタンバイからの復帰時に、ネットワーク関係のアプリケーションが正常に動作しないことがあります。その場合は、もう1度ネットワークにログインし直してください。「東芝省電力ユーティリティ」でスタンバイを無効に設定しておくと、自動的にスタンバイが実行されることはありません。
ただし、設定を変更すると国際エネルギースタープログラム規格の基準を満たせなくなります。

【 休止状態 】

休止状態とは、パソコン本体の電源を切るときに、メモリの内容をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、以前の状態を再現します。この機能はパソコン本体に対しての機能です。周辺機器には働きません。
休止状態が有効（［休止状態をサポートする］がチェックされている）の場合は、動作中にバッテリ充電量が減少すると、休止状態にして電源を切ります。休止状態が無効の場合、何もしないで電源が切れるので、休止状態を有効にしておくことを推奨します。

【 電源オフ 】

Windows を終了して電源を切ります。

［CPU 熱制御方式］

CPU 熱制御に対する省電力制御の方式を選択します。

【 ファン冷却優先 】

コンピュータ内部の温度が上昇したときに、主にファンを使用して冷却します。

【 CPU 速度併用 】

コンピュータ内部の温度が上昇したときに、［ファン冷却優先］と［CPU 速度低下を優先］の中間的な方法で冷却します。

【 CPU 速度低下を優先 】

コンピュータ内部の温度が上昇したときに、主に CPU の速度を落として冷却します。［CPU 速度併用］より消費電力は少なくなります。

5 ［電源情報詳細］タブ

バッテリ残量などのバッテリ情報を表示します。バッテリ残量は目安です。

6 複数ユーザで使用する場合

「東芝省電力ユーティリティ」は、コンピュータの管理者のみが使用できます。設定内容は各ユーザごとに保存されます。

参照 複数のユーザで使用する場合について『基本をマスター 4 章』

詳しい操作方法を知りたいとき（ヘルプの起動）

1 ［東芝省電力ユーティリティ］を起動後、画面右上の ? をクリックする

ポインタが ? に変わります。

2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする